

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																																																							
	1 項	労働福祉費		第2節	いきいきと働ける就業環境を創出する		()																																																																							
	1 目	労働福祉費		(1)	多様なニーズに対応した就業支援を推進する		()																																																																							
実施計画掲載ページ		P44	中 事 業		労働者対策費																																																																									
事業コード		003-002-001-00152	事 業 名		高齢者就業支援事業																																																																									
目的及び事業内容		<p>(公社)石巻市シルバー人材センターへ補助金を交付して運営を支援することにより、地域に密着した仕事を提供し、高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図るとともに、企業の人手不足の解消、地域社会の維持・発展等を推進する。</p>																																																																												
取 組 実 績		<p>1 シルバー人材センター運営費補助金 23,750,000円</p> <p>2 シルバー人材センター事業実績</p> <p>(1) 高齢者の福祉の増進と生きがい対策として、臨時的かつ短期的な業務のあっせん(あっせん業務：技術、技能、事務、管理、折衝外交、一般作業、サービス)</p> <p>(2) 高齢者の就業機会確保のための一般労働者派遣事業の実施</p>																																																																												
成 果		<p>下記のとおり、会員に対し就業機会を創出することにより、高齢者の生きがい対策、地域社会への貢献が図られた。</p> <p>令和2年度の受注実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職群</th> <th>区分</th> <th>受託件数</th> <th>就業延実人員</th> <th>就業延人員</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技 術</td> <td></td> <td>1件</td> <td>12人</td> <td>51人</td> <td>159,552円</td> </tr> <tr> <td>技 能</td> <td></td> <td>1,289件</td> <td>3,498人</td> <td>4,848人</td> <td>40,885,750円</td> </tr> <tr> <td>事 務</td> <td></td> <td>46件</td> <td>61人</td> <td>279人</td> <td>1,299,960円</td> </tr> <tr> <td>管 理</td> <td></td> <td>15件</td> <td>348人</td> <td>3,059人</td> <td>15,261,424円</td> </tr> <tr> <td>折衝外交</td> <td></td> <td>3件</td> <td>87人</td> <td>326人</td> <td>1,948,116円</td> </tr> <tr> <td>一般作業</td> <td></td> <td>2,518件</td> <td>10,003人</td> <td>25,181人</td> <td>144,700,781円</td> </tr> <tr> <td>サービス</td> <td></td> <td>0件</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>3,872件</td> <td>14,009人</td> <td>33,744人</td> <td>204,255,583円</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度の派遣事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約件数</th> <th>派遣登録会員数</th> <th>就業延人数</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18件</td> <td>46人</td> <td>6,599人</td> <td>34,689,492円</td> </tr> </tbody> </table> <p>会員数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>446人</td> <td>465人</td> <td>454人</td> </tr> </tbody> </table>							職群	区分	受託件数	就業延実人員	就業延人員	契約金額	技 術		1件	12人	51人	159,552円	技 能		1,289件	3,498人	4,848人	40,885,750円	事 務		46件	61人	279人	1,299,960円	管 理		15件	348人	3,059人	15,261,424円	折衝外交		3件	87人	326人	1,948,116円	一般作業		2,518件	10,003人	25,181人	144,700,781円	サービス		0件	0人	0人	0円	計		3,872件	14,009人	33,744人	204,255,583円	契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額	18件	46人	6,599人	34,689,492円	年度	H30	R1	R2	人数	446人	465人	454人
職群	区分	受託件数	就業延実人員	就業延人員	契約金額																																																																									
技 術		1件	12人	51人	159,552円																																																																									
技 能		1,289件	3,498人	4,848人	40,885,750円																																																																									
事 務		46件	61人	279人	1,299,960円																																																																									
管 理		15件	348人	3,059人	15,261,424円																																																																									
折衝外交		3件	87人	326人	1,948,116円																																																																									
一般作業		2,518件	10,003人	25,181人	144,700,781円																																																																									
サービス		0件	0人	0人	0円																																																																									
計		3,872件	14,009人	33,744人	204,255,583円																																																																									
契約件数	派遣登録会員数	就業延人数	契約金額																																																																											
18件	46人	6,599人	34,689,492円																																																																											
年度	H30	R1	R2																																																																											
人数	446人	465人	454人																																																																											
成果に係る評価		<p>会員数は465人から入会・退会トータルで11人減少し454人となり、就業延人員が35,300人から1,556人減少し33,744人となった。</p> <p>新型コロナウイルスの影響もあり、受託件数も就業延べ人員についても、前年度より下がった。</p> <p>現状では、個々の契約金額を増加させることは困難であるので、今後は新規の業務獲得により受託件数を増加させ、就業する人員を増やすことで、高齢者の社会参加の受け皿としての役割を果たすべく、活動を進めていく必要がある。</p>																																																																												
(単位：円)																																																																														
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																										
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																							
		23,750,000	23,750,000					23,750,000																																																																						

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																									
	1 項	労働福祉費		第2節	いきいきと働ける就業環境を創出する		()																																									
	1 目	労働福祉費		(2)	就業環境の改善を図る		()																																									
実施計画掲載ページ		P 45	中 事 業	労働者対策費																																												
事業コード	003-002-002-00153	事 業 名	中小企業勤労者総合福祉事業																																													
目的及び事業内容	<p>(一財)石巻地区勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付して運営を支援することにより、中小企業が単独では実施できない労働福祉事業の共同化を促進し、勤労者の労働福祉向上と中小企業の振興を図る。</p>																																															
取組実績	<p>1 石巻地区勤労者福祉サービスセンター運営費補助金 15,000,000円</p> <p>2 石巻地区勤労者福祉サービスセンター事業実績</p> <p>(1) 在職中の生活安定に係る事業 (共済給付事業・生活資金融資あっせん事業)</p> <p>(2) 健康の維持増進に係る事業 (健康管理事業・スポーツ大会等事業・体育施設利用助成事業)</p> <p>(3) 老後生活の安定に係る事業および財産形成に係る事業 (中退共制度普及事業)</p> <p>(4) 自己啓発および余暇活動に係る事業 (自己啓発事業・ツアー事業・催物事業・割引事業)</p> <p>(5) その他法人の目的を達成するために必要な事業 (加入促進事業・情報提供事業・会議、研修等開催)</p>																																															
成 果	<p>入会事業所・会員数は令和元年度から減少した。 新型コロナウイルスの影響で催物等事業は中止となったが、健康維持事業を増加させ、労働福祉向上と中小企業の振興を図った。</p> <p>会員入会状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業所数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>283事業所</td> <td>2,675人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>271事業所</td> <td>2,600人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>262事業所</td> <td>2,564人</td> </tr> </tbody> </table> <p>共済給付・行事参加延べ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活安定事業</th> <th>健康維持事業</th> <th>自己啓発事業</th> <th>催物等事業</th> <th>割引事業</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>552人</td> <td>1,227人</td> <td>76人</td> <td>577人</td> <td>4,266人</td> <td>6,698人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>610人</td> <td>1,311人</td> <td>128人</td> <td>561人</td> <td>3,516人</td> <td>6,126人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>493人</td> <td>6,007人</td> <td>50人</td> <td>0人</td> <td>3,102人</td> <td>9,652人</td> </tr> </tbody> </table>									事業所数	会員数	H30	283事業所	2,675人	R1	271事業所	2,600人	R2	262事業所	2,564人		生活安定事業	健康維持事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計	H30	552人	1,227人	76人	577人	4,266人	6,698人	R1	610人	1,311人	128人	561人	3,516人	6,126人	R2	493人	6,007人	50人	0人	3,102人	9,652人
	事業所数	会員数																																														
H30	283事業所	2,675人																																														
R1	271事業所	2,600人																																														
R2	262事業所	2,564人																																														
	生活安定事業	健康維持事業	自己啓発事業	催物等事業	割引事業	合計																																										
H30	552人	1,227人	76人	577人	4,266人	6,698人																																										
R1	610人	1,311人	128人	561人	3,516人	6,126人																																										
R2	493人	6,007人	50人	0人	3,102人	9,652人																																										
成果に係る評価	<p>会員数が減少した要因は事業所の廃止や、従業員の定年による退会等であり、今後も同様の事由が見込まれることから、新型コロナウイルス拡大防止対策を踏まえ、今後更なる会員増加のため、周知を図っていく必要がある。</p> <p>昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で、例年人気のツアーやビアパーティー等の事業を実施することが出来なかったことから、会員全員への感染症対策品の贈呈や宅飲み企画の実施等、コロナ禍においても実施可能な事業を模索しながら事業を推進し、共済給付・行事参加延べ人数を増加させたことは評価できる。</p>																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																															
予算額	15,000,000	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
		15,000,000			2,820,000	12,180,000																																										

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																																																															
	1 項	労働福祉費		第2節	いきいきと働ける就業環境を創出する		()																																																																															
	1 目	労働福祉費		(2)	就業環境の改善を図る		()																																																																															
実施計画掲載ページ		P 45	中 事 業	労働者対策費																																																																																		
事業コード	003-002-002-00154	事 業 名	勤労者生活安定資金融資あっせん事業																																																																																			
目的及び事業内容	<p>中小企業勤労者の生活の安定を図るとともに、勤労意欲の向上及び中小企業の振興と雇用の安定に寄与するため、東北労働金庫において市が預託した金額の2倍の融資枠を設定し、融資を行う。</p>																																																																																					
取組実績	<p>1 預託額 10,000,000円</p> <p>2 勤労者向け生活安定資金の融資あっせん事業の実施</p> <p>○ 市内中小企業従業員に対する低利での生活資金、教育資金及び自動車資金の融資</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途区分</th> <th>融資額</th> <th>貸付期間</th> <th>貸付利率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般生活資金</td> <td>100万円以内</td> <td>7年以内</td> <td>2.75%</td> </tr> <tr> <td>教育資金</td> <td>300万円以内</td> <td>10年以内 (5年以内の据置期間含む)</td> <td>1.55%</td> </tr> <tr> <td>自動車資金</td> <td>200万円以内</td> <td>7年以内</td> <td>1.55%</td> </tr> </tbody> </table>								用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率	一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%	教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.55%	自動車資金	200万円以内	7年以内	1.55%																																																														
用途区分	融資額	貸付期間	貸付利率																																																																																			
一般生活資金	100万円以内	7年以内	2.75%																																																																																			
教育資金	300万円以内	10年以内 (5年以内の据置期間含む)	1.55%																																																																																			
自動車資金	200万円以内	7年以内	1.55%																																																																																			
成 果	<p>○ 年別融資償還状況 (単位：件、円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">前年度末債務残高</th> <th colspan="2">融資(貸付実行)</th> <th rowspan="2">完済件数</th> <th rowspan="2">償還金額</th> <th colspan="2">年度末債務残高</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>20</td> <td>14,305,556</td> <td>1</td> <td>500,000</td> <td>5</td> <td>3,923,852</td> <td>16</td> <td>10,881,704</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>16</td> <td>10,881,704</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>3,543,842</td> <td>11</td> <td>7,337,862</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>11</td> <td>7,337,862</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>2,856,339</td> <td>6</td> <td>4,481,523</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>4,481,523</td> <td>2</td> <td>3,600,000</td> <td>5</td> <td>3,211,067</td> <td>3</td> <td>4,870,456</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>4,870,456</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>677,940</td> <td>3</td> <td>4,192,516</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>4,192,516</td> <td>7</td> <td>6,842,113</td> <td>0</td> <td>1,351,785</td> <td>10</td> <td>9,682,844</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10</td> <td>9,682,844</td> <td>3</td> <td>3,920,000</td> <td>2</td> <td>2,083,694</td> <td>11</td> <td>11,519,150</td> </tr> </tbody> </table>								年度	前年度末債務残高		融資(貸付実行)		完済件数	償還金額	年度末債務残高		件数	金額	件数	金額	件数	金額	H26	20	14,305,556	1	500,000	5	3,923,852	16	10,881,704	H27	16	10,881,704	0	0	5	3,543,842	11	7,337,862	H28	11	7,337,862	0	0	5	2,856,339	6	4,481,523	H29	6	4,481,523	2	3,600,000	5	3,211,067	3	4,870,456	H30	3	4,870,456	0	0	0	677,940	3	4,192,516	R1	3	4,192,516	7	6,842,113	0	1,351,785	10	9,682,844	R2	10	9,682,844	3	3,920,000	2	2,083,694	11	11,519,150
年度	前年度末債務残高		融資(貸付実行)		完済件数	償還金額	年度末債務残高																																																																															
	件数	金額	件数	金額			件数	金額																																																																														
H26	20	14,305,556	1	500,000	5	3,923,852	16	10,881,704																																																																														
H27	16	10,881,704	0	0	5	3,543,842	11	7,337,862																																																																														
H28	11	7,337,862	0	0	5	2,856,339	6	4,481,523																																																																														
H29	6	4,481,523	2	3,600,000	5	3,211,067	3	4,870,456																																																																														
H30	3	4,870,456	0	0	0	677,940	3	4,192,516																																																																														
R1	3	4,192,516	7	6,842,113	0	1,351,785	10	9,682,844																																																																														
R2	10	9,682,844	3	3,920,000	2	2,083,694	11	11,519,150																																																																														
成果に係る評価	<p>令和2年度は、前年度に続き3件の新規貸し付け実行があり一定の効果が得られた。更なる利用者増加のため、制度の利用促進を図るとともに制度周知に取り組む。</p>																																																																																					
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																					
予算額	10,000,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																
		10,000,000			10,000,000																																																																																	

予算科目	5 款	労働費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																																																													
	1 項	労働福祉費				(3)	職の再建																																																																																																													
	2 目	東日本大震災関係費				(1)	雇用の維持と創出																																																																																																													
実施計画掲載ページ		P189	中 事 業		事業復興型雇用創出事業費																																																																																																															
事業コード		002-301-002-00393	事 業 名		緊急雇用創出事業																																																																																																															
目的及び事業内容		被災地域において安定的な雇用を創出すること及び地域の中核となる産業や経済の活性化に資する雇用を創出することを目的とし、産業政策と一体となって雇用面からの支援を行うことにより、震災により職離を余儀なくされた住民の生活の安定を図り、地域の復興を支えるもの。具体的には、市が認定する対象産業政策を実施する事業主が新規雇用を行った場合に、雇用者1人当たり3年間最大120万円を助成するもの。																																																																																																																		
取組実績		1 事業復興型雇用創出助成金交付 4事業主 助成交付対象労働者数 5人（継続） 2 助成交付額 573,000円																																																																																																																		
成果		産業政策と一体となった雇用面からの支援により、被災求職者等の雇用が創出され、生活の安定が図られた。 <雇用状況>																																																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>人数(人)</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数(人)</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数(人)</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数(人)</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数(人)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>23</td> <td>8,007</td> <td>9</td> <td>1,049</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22</td> <td>10,547</td> <td>13</td> <td>4,053</td> <td>1</td> <td>206</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>19</td> <td>3,822</td> <td>15</td> <td>4,605</td> <td>6</td> <td>1,579</td> <td>6</td> <td>482</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>2,524</td> <td>6</td> <td>1,519</td> <td>3</td> <td>663</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>3,662</td> <td>6</td> <td>1,646</td> <td>1</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>183</td> <td>3</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>22,376</td> <td>45</td> <td>12,231</td> <td>22</td> <td>6,966</td> <td>16</td> <td>2,974</td> <td>5</td> <td>573</td> </tr> </tbody> </table>							H28		H29		H30		R1		R2		人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	H26	23	8,007	9	1,049	-	-	-	-	-	-	H27	22	10,547	13	4,053	1	206	-	-	-	-	H28	19	3,822	15	4,605	6	1,579	6	482	-	-	H29	-	-	8	2,524	6	1,519	3	663	-	-	H30	-	-	-	-	9	3,662	6	1,646	1	86	R1	-	-	-	-	-	-	1	183	3	470	R2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	合計	64	22,376	45	12,231	22	6,966	16	2,974	5	573
	H28		H29		H30		R1		R2																																																																																																											
	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)	人数(人)	金額(千円)																																																																																																										
H26	23	8,007	9	1,049	-	-	-	-	-	-																																																																																																										
H27	22	10,547	13	4,053	1	206	-	-	-	-																																																																																																										
H28	19	3,822	15	4,605	6	1,579	6	482	-	-																																																																																																										
H29	-	-	8	2,524	6	1,519	3	663	-	-																																																																																																										
H30	-	-	-	-	9	3,662	6	1,646	1	86																																																																																																										
R1	-	-	-	-	-	-	1	183	3	470																																																																																																										
R2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17																																																																																																										
合計	64	22,376	45	12,231	22	6,966	16	2,974	5	573																																																																																																										
成果に係る評価		産業政策と一体となった雇用面からの支援を行うことにより、地域の産業の振興、経済の活性化に資する雇用の創出が図られた。 令和2年度は継続の労働者のみが補助対象であり、5人分の補助を行った。 なお、令和元年度から新規受付は宮城県が受け付けているため、当市は継続申請のみの受付となっている。																																																																																																																		
予算の執行状況		(単位：円)																																																																																																																		
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																													
		629,000	573,000	573,000																																																																																																																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	復興計画	()	地域資源を活かして元気産業を創造するまち																																																
	1 項	農業費				()	魅力的な農林業を確立する																																																
	3 目	農業振興費				()	林業経営の効率化を図る																																																
実施計画掲載ページ		P56	中 事 業		ニホンジカ農作物被害防止対策費																																																		
事業コード		003-004-004-01313	事 業 名		有害鳥獣農作物被害防止対策事業																																																		
目的及び事業内容		<p>牡鹿半島では、ニホンジカによる交通事故、農林業被害が増加しており、最近では半島外の地域でもニホンジカが原因とみられる農林業被害の情報が寄せられている。そのため、ニホンジカ被害の軽減、被害区域拡大の防止のため、宮城県猟友会石巻支部及び河北支部に有害鳥獣捕獲業務を委託し、宮城県ニホンジカ管理計画に基づき、年間捕獲頭数1,700頭を目標に捕獲圧を高め、被害の軽減、防止に努める。</p> <p>また、河北、河南、北上、桃生においてはカルガモやカラス等の予察捕獲を実施し、農作物の被害防止に努める。</p>																																																					
取組実績		<p>1 石巻市有害鳥獣捕獲業務（ニホンジカ）</p> <p>(1) 宮城県猟友会石巻支部（石巻警察署管内） 委託料 13,049,220円（有害鳥獣捕獲業務） 委託期間 令和2年4月2日～令和3年2月15日</p> <table border="1"> <tr> <td>稲井地区</td> <td>渡波地区</td> <td>荻浜地区</td> <td>牡鹿地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>34頭</td> <td>60頭</td> <td>68頭</td> <td>285頭</td> <td>447頭</td> </tr> </table> <p>(2) 宮城県猟友会河北支部（河北警察署管内） 委託料 12,496,580円（有害鳥獣捕獲業務） 委託期間 令和2年4月2日～令和3年2月15日</p> <table border="1"> <tr> <td>河北地区</td> <td>雄勝地区</td> <td>桃生地区</td> <td>北上地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>261頭</td> <td>32頭</td> <td>65頭</td> <td>20頭</td> <td>378頭</td> </tr> </table> <p>2 ニホンジカ搬入処理業務（解体処理施設までシカを搬入する業務） 委託料 1,662,075円 委託期間 令和2年4月2日～令和3年2月15日</p> <table border="1"> <tr> <td>支部名</td> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>頭数</td> <td>70頭</td> <td>53頭</td> <td>123頭</td> </tr> <tr> <td>総重量</td> <td>4,644kg</td> <td>2,031kg</td> <td>6,675kg</td> </tr> </table> <p>3 石巻市鹿除去処理作業業務（民有地の網や住民の要望により設置した罠に絡まったニホンジカの処理） 委託料 23,113,200円（単価契約） 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>121回</td> <td>1,630回</td> <td>1,751回</td> </tr> </table> <p>4 農作物有害駆除業務（河北、河南、北上、桃生地区） 委託料 1,645,600円 委託期間 令和2年4月1日～令和2年10月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>カルガモ</td> <td>カラス</td> <td>キジバト</td> <td>スズメ</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>205羽</td> <td>252羽</td> <td>21羽</td> <td>41羽</td> <td>519羽</td> </tr> </table>						稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計	34頭	60頭	68頭	285頭	447頭	河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計	261頭	32頭	65頭	20頭	378頭	支部名	石巻支部	河北支部	合計	頭数	70頭	53頭	123頭	総重量	4,644kg	2,031kg	6,675kg	石巻支部	河北支部	計	121回	1,630回	1,751回	カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計	205羽	252羽	21羽	41羽	519羽
稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計																																																			
34頭	60頭	68頭	285頭	447頭																																																			
河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計																																																			
261頭	32頭	65頭	20頭	378頭																																																			
支部名	石巻支部	河北支部	合計																																																				
頭数	70頭	53頭	123頭																																																				
総重量	4,644kg	2,031kg	6,675kg																																																				
石巻支部	河北支部	計																																																					
121回	1,630回	1,751回																																																					
カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計																																																			
205羽	252羽	21羽	41羽	519羽																																																			
成果		計画的なニホンジカ駆除の実施等により、被害の軽減と被害区域拡大の防止が図られた。																																																					
成果に係る評価		令和2年度も昨年度と同様に、有害鳥獣捕獲業務を2支部各50日間の計100日間実施したが捕獲頭数は昨年度より増加する結果となった。また、鹿除去処理作業業務において、くくりわなに捕まった多くのシカを処理したため、全体の捕獲頭数は昨年度よりも1,143頭増加した。また、石巻市管内に存在する2カ所の解体処理施設を活用することによって、捕獲後のシカの適正な処理への推進につながった。依然として農作物への被害があることから、有害鳥獣捕獲業務を継続して取り組む必要がある。																																																					
予算の執行状況		(単位：円)																																																					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
		62,050,000	60,153,493	11,703,251		9,000,000	39,450,242																																																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																									
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()																																									
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()																																									
実施計画掲載ページ		P 49	中 事 業	農業振興費																																												
事業コード		003-004-001-00169	事 業 名	みやぎの水田農業改革支援事業																																												
目的及び事業内容		米の需給調整に係る集団転作に取り組む農業法人や集落営農組織等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付するもの。																																														
取組実績		<p>転作用機械を導入する補助対象事業者（7組織）に対し、県補助金（4/10）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の負担軽減を図った。</p> <p>1 事業実施主体数：7組織 2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業実施主体名</th> <th>作作品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>(農) 鶴家</td> <td>水稻・麦・大豆</td> <td>河北</td> <td>レーザーレベラー 1台 他</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(株) ヒロふぁーむ</td> <td>水稻・麦・大豆</td> <td>河南</td> <td>レーザーレベラー 1台 他</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ひろぶち営農組合</td> <td>水稻・飼料用米・大豆</td> <td>河南</td> <td>大豆乾燥調整選別設備</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>前谷地広沼沼営農組合</td> <td>水稻・飼料用米・大豆</td> <td>河南</td> <td>レーザーレベラー 1台 他</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>(株) JKファーム</td> <td>水稻・麦</td> <td>桃生</td> <td>スタプルカルチ 1台 他</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>(有) 高須賀農産</td> <td>水稻・麦・大豆</td> <td>桃生</td> <td>産業用無人ヘリコプター 1台</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>(有) アグリサービス高勝</td> <td>水稻・麦・大豆</td> <td>桃生</td> <td>レーザーレベラー 1台 他</td> </tr> </tbody> </table>								事業実施主体名	作作品目	地区	導入機械	1	(農) 鶴家	水稻・麦・大豆	河北	レーザーレベラー 1台 他	2	(株) ヒロふぁーむ	水稻・麦・大豆	河南	レーザーレベラー 1台 他	3	ひろぶち営農組合	水稻・飼料用米・大豆	河南	大豆乾燥調整選別設備	4	前谷地広沼沼営農組合	水稻・飼料用米・大豆	河南	レーザーレベラー 1台 他	5	(株) JKファーム	水稻・麦	桃生	スタプルカルチ 1台 他	6	(有) 高須賀農産	水稻・麦・大豆	桃生	産業用無人ヘリコプター 1台	7	(有) アグリサービス高勝	水稻・麦・大豆	桃生	レーザーレベラー 1台 他
	事業実施主体名	作作品目	地区	導入機械																																												
1	(農) 鶴家	水稻・麦・大豆	河北	レーザーレベラー 1台 他																																												
2	(株) ヒロふぁーむ	水稻・麦・大豆	河南	レーザーレベラー 1台 他																																												
3	ひろぶち営農組合	水稻・飼料用米・大豆	河南	大豆乾燥調整選別設備																																												
4	前谷地広沼沼営農組合	水稻・飼料用米・大豆	河南	レーザーレベラー 1台 他																																												
5	(株) JKファーム	水稻・麦	桃生	スタプルカルチ 1台 他																																												
6	(有) 高須賀農産	水稻・麦・大豆	桃生	産業用無人ヘリコプター 1台																																												
7	(有) アグリサービス高勝	水稻・麦・大豆	桃生	レーザーレベラー 1台 他																																												
成 果		7組織において、転作用機械を導入し、麦・大豆等の栽培における生産規模の拡大が図られた。また、機械の導入により、作業効率の向上による適期作業の確立に伴い品質の向上が図られた。																																														
成果に係る評価		米の需給調整としての転作は必要不可欠な取組であり、担い手への農地集積と、麦・大豆・飼料作物を団地として生産することが求められている。作業機械の導入による適期作業体系の構築が必要であることから、補助事業を活用した結果、適期での播種・防除・刈取りの体系が強化され、水田の多面的・効果的な活用と、生産物の品質・収穫量の向上が見られた。今後水田をフル活用するため、継続して事業を推進する必要がある。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	36,544,000	36,544,000	32,486,000			4,058,000																																										

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()																
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		()																
実施計画掲載ページ		P 49	中 事 業	農業振興費																			
事業コード		003-004-001-00168	事 業 名	園芸特産重点強化整備事業																			
目的及び事業内容		園芸生産用施設・機械の導入等により、園芸特産物の安定的な供給を支える担い手の育成・確保を図りながら、組織化による集落農業の実践を進め、高品質で収益性の高い作物の計画的な生産出荷を可能とする産地を育成することを目的とする。																					
取組実績		<p>園芸作物栽培に係る施設・機械を導入する補助対象事業者（2組織）に対し、県補助金（1/3）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、施設・機械等の整備費の負担軽減を図った。</p> <p>1 事業実施主体数：2組織 2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業実施主体名</th> <th>作作品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石巻市苺栽培組合</td> <td>いちご</td> <td>石巻</td> <td>高設ベンチ 一式 育苗パイプハウス 一式</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(株) アグリ・パレット</td> <td>いちご</td> <td>河南</td> <td>炭酸ガス防除機 1台</td> </tr> </tbody> </table>								事業実施主体名	作作品目	地区	導入機械	1	石巻市苺栽培組合	いちご	石巻	高設ベンチ 一式 育苗パイプハウス 一式	2	(株) アグリ・パレット	いちご	河南	炭酸ガス防除機 1台
	事業実施主体名	作作品目	地区	導入機械																			
1	石巻市苺栽培組合	いちご	石巻	高設ベンチ 一式 育苗パイプハウス 一式																			
2	(株) アグリ・パレット	いちご	河南	炭酸ガス防除機 1台																			
成 果		<p>〈石巻市苺栽培組合〉 育苗パイプハウスの整備により、苗の生育環境が改善され安定生産が図られた。高設ベンチの導入により、土壌病害の回避と作業効率の向上が図られるため、今後の出荷量の増大が期待できる。</p> <p>〈(株) アグリ・パレット〉 機械の導入により、いちご生産における効率的な防除処理体系を構築することで、品質及び生産性の向上が見込まれ、経営の安定化が図られる。</p>																					
成果に係る評価		農産物生産においては、産地間競争が激しくなっており、この競争を勝ち抜くためには、生産量の増大と省力化による安定生産及びコストの削減が必須となっている。機械の導入や施設整備が生産力の向上及び省力化に結びつき、収益性の高い経営が図られることから、本市における生産者の高収益性経営を目指して、継続して事業を推進していく必要がある。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	7,953,000	7,953,000	6,916,000			1,037,000																	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	3 目	農業振興費		(2)	安定的な農業経営対策を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 53	中 事 業	農業振興費				
事業コード		003-004-002-01065	事 業 名	担い手育成総合支援事業（農林業）				
目的及び事業内容		本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、新規就農者への就業支援助成金、支援拠点となる施設整備等や管理運営を実施する。						
取組実績		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助金） 営農に要する機械等の導入に係る経費の負担軽減を図るため、認定新規就農者2名に383,450円を助成した。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 新・農業人フェア等のマッチングイベントに3回参加し本市農業のPR活動や、オンラインとオフラインによる定期的な就農相談会を開催した。ホームページやSNS等で募集を行い、農業担い手センターを活用した本市農業の座学によるプログラムを3回開催し、54人参加した。また、地域体験型農業研修プログラムを2回開催し10人参加した。桃生シェアハウスを活用し、本市で就農している若手農業者や、就農希望者等による交流会を実施した。ホームページの更新やパンフレットの増刷、シェアハウスの改修等を行った。</p>						
成 果		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助金） 認定新規就農者の営農に要する機械導入に係る経費の負担を軽減して、就農者の経営の改善に寄与した。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 市内の法人等に就農した6名のうち、市外からの就農者は3名である。市外からの就農者のうち、1名が北上地区のシェアハウスに入居した。また、電話やWEB、電子メールでの問い合わせも増加しており、継続的な就農相談を実施することで移住を伴う就農者を受け入れることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助金） 助成対象となる認定新規就農者等を拡充する事業と連携して、更なる制度運営の充実を図る。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 地道な活動を行うことで移住が伴う就農に繋がることから、今後もマッチングイベント等でのPR活動や就農相談会を継続し、地元農業法人等の就農先との連携を図りながら新たな担い手確保に努める。また、若手農業者と就農希望者の交流会を充実させ、就農希望者の不安や就農に関する課題等の解消を図る。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	15,955,600	15,339,050			15,339,050			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																					
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()																					
	4 目	畜産費		(3)	環境にやさしい農業を推進する		()																					
実施計画掲載ページ		P 54	中 事 業	堆肥センター費																								
事業コード		003-004-003-00170	事 業 名	有機センター施設整備事業																								
目的及び事業内容		石巻市内4カ所の堆肥センターにおける畜産廃棄物を適正に処理し、良質堆肥を生産するための設備、機械を整備・更新することにより、畜産農業・耕種農業、実需者及び消費者の連携した資源循環型農業の推進を図る。																										
取組実績		<p>設備、機械等の修繕を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>設備、機械名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">かなん有機センター</td> <td>トラックスケール修繕</td> <td>4,070,000円</td> </tr> <tr> <td>脱臭配管修繕</td> <td>200,200円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">桃生堆肥化処理センター</td> <td>敷地内舗装修繕</td> <td>5,720,000円</td> </tr> <tr> <td>電気設備改修工事</td> <td>1,100,000円</td> </tr> <tr> <td>乾燥舎攪拌機走行ウレタン車輪修繕</td> <td>228,800円</td> </tr> <tr> <td>堆肥倉扉修繕</td> <td>148,555円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>11,467,555円</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	設備、機械名	金額	かなん有機センター	トラックスケール修繕	4,070,000円	脱臭配管修繕	200,200円	桃生堆肥化処理センター	敷地内舗装修繕	5,720,000円	電気設備改修工事	1,100,000円	乾燥舎攪拌機走行ウレタン車輪修繕	228,800円	堆肥倉扉修繕	148,555円	合 計		11,467,555円
施設名	設備、機械名	金額																										
かなん有機センター	トラックスケール修繕	4,070,000円																										
	脱臭配管修繕	200,200円																										
桃生堆肥化処理センター	敷地内舗装修繕	5,720,000円																										
	電気設備改修工事	1,100,000円																										
	乾燥舎攪拌機走行ウレタン車輪修繕	228,800円																										
	堆肥倉扉修繕	148,555円																										
合 計		11,467,555円																										
成 果		経年劣化により破損や故障した設備（トラックスケール、敷地内舗装、電気設備等）の修繕により、施設の適正な管理運営が行えるようになり、畜産廃棄物の処理及び生産性の向上、畜産農業と耕種農業との耕畜連携を促しながら製品出荷体制の強化体制が図られた。																										
成果に係る評価		老朽化した設備、機械の修繕により、各有機センター施設の健全な運営が図られた。今後も、安全面や衛生面を考慮した施設改善を行い、有機資源を循環させながら農産物を生産する営みが、地力を維持し、持続性が高い理想的な農業体系を維持するために必要であることから、効率的な資源循環型農業の推進を図る。																										
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	11,467,555	11,467,555				11,467,555																						

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		()	
	5 目	農地費		(3)	環境にやさしい農業を推進する		()	
実施計画掲載ページ	P55		中 事 業		土地改良事業関係助成費			
事業コード	003-004-003-00181		事 業 名		多面的機能支払交付金事業			
目的及び事業内容	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を行う。</p> <p>対象区域（管内一円） 7,391ha 交付先：蛇田保全隊 ほか17活動組織 事業期間 令和元年度～令和5年度</p>							
取組実績	以下の活動組織において、次の活動を行った。							
	1 農地維持活動（水路の草刈、泥上げ、農道の路面維持等）							
	2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、草花の植栽等）							
	組織名	R2 参加人数	R1 参加人数	対象 農地面積	組織名	R2 参加人数	R1 参加人数	対象 農地面積
	蛇田	828人	1,047人	17,829 a	広 洲	2,627人	2,762人	66,339 a
	稲井	874人	1,035人	62,981 a	須江	2,585人	2,845人	39,462 a
	小船越	2,590人	3,469人	53,806 a	北村	2,212人	2,458人	31,863 a
	飯野・成田	1,301人	1,619人	35,232 a	中津山1	3,301人	6,967人	57,306 a
	二俣	1,638人	2,243人	36,707 a	中津山2	1,983人	2,128人	30,073 a
	飯野川	1,092人	2,605人	25,670 a	桃生1	1,260人	1,374人	31,536 a
北上	703人	576人	21,683 a	太田	1,486人	1,536人	30,803 a	
前谷地	3,069人	3,565人	48,815 a	大川	319人	796人	24,246 a	
和洲	2,744人	2,977人	49,039 a					
鹿又	3,403人	3,753人	75,712 a	合 計	34,015人	43,755人	739,102 a	
成 果	<p>地域の各団体が総意をもって地域共同活動として地域資源の保全管理、農村環境の保全・向上、あるいは自然災害の防災・減災・復旧等に取り組んでおり、これらにより農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮されている。また、これらの活動により、高齢化が進んでいる中で農家・非農家問わず住民が積極的に参加する等の自覚が芽生えている。</p> <p>さらに、地域の子供達が参加し、生き物調査を行う等、地域の身近な自然についての学習も行っており、自然環境等の意識向上が図られている。</p>							
成果に係る評価	<p>地域が一体となって、身近な環境の維持、保全管理を推進する上で重要な事業であり、今後も継続的に事業が継続されるよう取り組む必要がある。</p> <p>平成26年6月に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、平成27年度から施行されたため、安定的な制度となった。</p> <p>本年度は多面的機能支払交付金としての5年間の事業期間の中間年となり、各活動組織において各階層の様々な議論の中で作成した「地域資源保全管理構想」に基づき、事業最終年度に向けて、本交付金の活用により持続的な地域資源の保全管理がより一層適切に行われることが期待される。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	196,187,000	196,186,330	147,139,742			49,046,588		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	1 項	農業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		(3)	大地とともに生きる
	9 目	東日本大震災関係費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		(1)	被災農林業への再建支援
実施計画掲載ページ	P52、199		中 事 業		農業復興対策費			
事業コード	003-004-001-00631 003-301-001-00546		事 業 名		農村地域復興再生基盤総合整備事業（農地整備事業） 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）			
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した農村地域の復興を目的として農地整備事業を行う。単なる原形復旧だけでなく、大区画化により農地の面的集積、経営の大規模化・高付加価値を行い、収益性の高い農業経営の実現を目指し、復旧・復興を加速化させる。</p>							
取組実績	地区名		R2主要工事	R2事業費	地区名		R2主要工事	R2事業費
	広洲沼	支線排水路工 一式 暗渠排水工 A=150.5ha	311,411千円	大川	確定測量、補完工事	32,551千円		
	鹿又	区画整理付帯工一式	42,779千円	北上	確定測量、補完工事	24,209千円		
	二俣南	区画整理付帯工一式	6,500千円	牡鹿	区画整理付帯工一式	1,904千円		
	合計	—	360,690千円	合計	—	58,664千円		
	成 果	<p>ほ場区画を拡大するとともに、用排水路の分離・暗渠排水・農道整備等を一体的に整備することにより、ほ場の汎用化・集団化を図り大規模経営の足がかりとなる水田農業の生産性向上と生産コストの低下を図り、地域農業の活性化が図られた。</p>						
成果に係る評価	<p>担い手が整備された大規模ほ場で、集約的な農業を展開しつつ、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率を向上させ、農業の多面的機能を十分発揮することができるようになった。</p> <p>また、被災された地域における農地復旧は喫緊の課題であり、関係機関と協議しながらその進め方等を検討している。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	419,354,000	419,354,000			18,034,500	401,319,500		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()													
	2 項	林業費		第 1 節	豊かな自然を次世代に継承する		()													
	2 目	林業振興費		(1)	自然環境を保全する		()													
実施計画掲載ページ	P115		中 事 業	松くい虫対策事業費																
事業コード	005-001-001-00187		事 業 名	松くい虫対策事業																
目的及び事業内容	松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。																			
取組実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>事 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫伐倒駆除事業 石巻、雄勝、北上地区</td> <td>302 本 149.98 m3</td> </tr> <tr> <td>樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区</td> <td>237 本</td> </tr> <tr> <td>松くい虫防除事業（空中散布）</td> <td>184.15 h a</td> </tr> <tr> <td>森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除</td> <td>3,607 本 1,558.897 m3</td> </tr> </tbody> </table>								事 業 名	事 業 量	松くい虫伐倒駆除事業 石巻、雄勝、北上地区	302 本 149.98 m3	樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区	237 本	松くい虫防除事業（空中散布）	184.15 h a	森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除	3,607 本 1,558.897 m3		
事 業 名	事 業 量																			
松くい虫伐倒駆除事業 石巻、雄勝、北上地区	302 本 149.98 m3																			
樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区	237 本																			
松くい虫防除事業（空中散布）	184.15 h a																			
森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除	3,607 本 1,558.897 m3																			
成 果	<p>貴重な景観の保全、森林・環境資源として、松林の保護並びに山林の荒廃を防止した。</p> <p>松くい虫被害木の駆除量の推移(駆除本数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>業務実施量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>2,999本</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,500本</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,108本</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,274本</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>3,909本</td> </tr> </tbody> </table>								年度	業務実施量	H28	2,999本	H29	3,500本	H30	4,108本	R1	2,274本	R2	3,909本
年度	業務実施量																			
H28	2,999本																			
H29	3,500本																			
H30	4,108本																			
R1	2,274本																			
R2	3,909本																			
成果に係る評価	適期に伐倒駆除や防除を実施し松くい虫の被害拡大を防ぐことにより、森林の土砂防止機能や水源涵養機能等の多面的機能維持及び森林資源の保護に努めた。																			
予算の執行状況	(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	60,081,000	59,365,814	39,303,493			20,062,321														

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()									
	2 項	林業費		第 4 節	魅力的な農林業を確立する		()									
	6 目	森林環境整備費		(4)	林業経営の効率化を図る		()									
実施計画掲載ページ	P56		中 事 業	森林環境整備事業費												
事業コード	003-004-004-01381		事 業 名	森林環境整備事業												
目的及び事業内容	パリ協定の枠組みの下における日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や森林の災害防止等を図るため、森林整備等に必要な施策を行う。															
取組実績	<p>災害リスクが高い山地災害危険地区Aの森林や防災集団移転住宅団地周辺森林において、過去に森林整備を実施していない民有林の所有者に対し、市への森林経営管理委託の意向調査を271.16haの森林で実施した。</p> <p>令和2年度の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>事業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林経営意向調査（防集団地）</td> <td>36.43 h a</td> </tr> <tr> <td>森林経営意向調査（山地災害危険地区A）</td> <td>234.73 h a</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>271.16 h a</td> </tr> </tbody> </table>								取組内容	事業量	森林経営意向調査（防集団地）	36.43 h a	森林経営意向調査（山地災害危険地区A）	234.73 h a	計	271.16 h a
取組内容	事業量															
森林経営意向調査（防集団地）	36.43 h a															
森林経営意向調査（山地災害危険地区A）	234.73 h a															
計	271.16 h a															
成 果	令和2年度に森林経営意向調査271.16haを実施した結果、72.5haの森林所有者から市へ森林経営管理を委託したい旨の回答があり、その内2.5haの防集団地周辺森林で間伐を実施した。															
成果に係る評価	事業実施初年度であった令和2年度は、山林所有者への意向確認後に間伐事業を実施することとなったため、間伐事業の達成率は5%に留まった。今後は、前年度に実施した意向調査結果による間伐事業を迅速に進め、間伐手遅れ林の解消により、水源涵養機能や山地災害防止機能を増進させ、住民の安全・安心を高めることとしたい。															
予算の執行状況	(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	32,000,000	31,999,000			31,999,000											

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()													
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()													
	2 目	水産業振興費		(1)	水産資源や水環境の保全・管理に努める		()													
実施計画掲載ページ	P 45		中 事 業	水産振興事業費																
事業コード	003-003-001-00167		事 業 名	密漁対策助成事業																
目的及び事業内容	<p>広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。</p> <p>同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。</p>																			
取組実績	1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況 (金額：円)																			
	実施漁協(支所)名		年間監視実績		監視に要した年間経費		補助金配分額													
			日数	時間																
	宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船		197	818.5	7,795,125	石巻市	1,398,896													
	宮城県漁協女川町支所(出島) 監視船、監視所		130	892.0	3,069,727	女川町	242,545													
	宮城県漁協女川町支所(江島) 監視船、監視所		363	2,930.5	14,110,930	女川町	1,257,455													
	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船		154	306.0	2,216,681	石巻市	439,340													
	宮城県漁協谷川支所(泊浜) 監視船		アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請により、組合員所有船で監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。																	
牡鹿漁協 監視船		125	486.0	4,161,934	石巻市	861,764														
宮城県漁協網地島支所 監視船		震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。																		
宮城県漁協網地島支所 監視船		また、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあたる。R2年度、監視活動は実施していない。																		
宮城県漁協表浜支所 監視船		監視船第七JFみやぎ丸(1.9トン)は小型船のため夜間の監視活動は困難である。R2年度、監視活動は実施していない。																		
合 計		969	5,433.0	31,354,397	石巻市	2,700,000	女川町	1,500,000												
成 果	<p>組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるものの、復旧した監視船、監視所による監視活動を行った結果、不審船を発見し、追尾により漁場外に追い出すなど、密漁行為を未然に防止した。</p> <p>また、これによって密漁船に遭遇することがなかった。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>当初計画</td> <td>実績</td> <td>割合</td> </tr> <tr> <td>延べ監視日数</td> <td>1,051日</td> <td>969日</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td>延べ監視時間</td> <td>6,538時間</td> <td>5,433時間</td> <td>83.1%</td> </tr> </table>									当初計画	実績	割合	延べ監視日数	1,051日	969日	92.2%	延べ監視時間	6,538時間	5,433時間	83.1%
	当初計画	実績	割合																	
延べ監視日数	1,051日	969日	92.2%																	
延べ監視時間	6,538時間	5,433時間	83.1%																	
成果に係る評価	<p>巧妙に行われる密漁を防止するにあたって、密漁監視船・監視所の継続的な夜間の監視活動が不可欠であるが、監視活動に係る人件費、燃料費及び船や監視施設の老朽化等に伴う維持管理経費等の活動経費負担が実施主体の大きな負担となっていることから、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには、継続して支援を行っていく必要がある。</p> <p>三陸沿岸域で横行するウニ・アワビ等磯根資源の密漁防止に向けた取組については、震災前から行われていたが、震災後は多くの住民が浜から離れたため、夜間に漁業者の監視の目が届かない状況となっている状況ではあるが、本事業の継続した取り組みにより、着実に密漁船の出没減少に繋がっている。</p>																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	2,700,000		2,700,000				2,700,000													

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		()	
実施計画掲載ページ	P 48		中 事 業	捕鯨活動推進事業費				
事業コード	003-003-005-00164		事 業 名	捕鯨活動推進事業				
目的及び事業内容	<p>全国の捕鯨や鯨食文化に縁のある自治体(34自治体)により「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」を構成し、商業捕鯨再開に向けた活動を行ってきた。本市は、全国でも数少ない基地式捕鯨を抱えていることから、副会長を務めている。</p> <p>平成30年12月、日本政府が1WCを脱退、およそ30年ぶりとなる令和元年7月から商業捕鯨が再開された。</p> <p>しかしながら、商業捕鯨禁止の期間の影響は大きく、捕鯨への理解の低迷、鯨食離れが進んでいることから、今後は、捕鯨産業を将来に渡って維持するための活動を「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」と連携して実施していく。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕鯨を守る全国自治体連絡協議会への参加 ・捕鯨に関連した行事への参加又は開催 ・政府、政党の開催する捕鯨関連会議等への参加及び陳情等 							
取組実績	「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」のメインイベントである鯨フォーラムに参加した他、市主催の会議や関係団体の会議等に出席した。							
	(内訳)							
	4月 ・基地式捕鯨(小型捕鯨)出港式(石巻市鮎川)※コロナ禍の影響を考慮し中止							
	9月 ・石巻市水産物地方卸売市場 鯨肉初競り立会							
11月 ・第1回 マッコウクジラ研究会(石巻市)								
11月 ・捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会(書面決議)								
11月 ・全国鯨フォーラム2020下関(山口県下関市)6名参加								
2月 ・鮎川における捕鯨史講演会(市内)								
2月 ・出前講座(市内)								
3月 ・冬季小型捕鯨船による鯨類資源調査 関係者事前打合せ(水産庁主催 石巻市開催)								
成 果	<p>・コロナ禍の影響により、通年と比較し開催される会議や行事は少なかったが、市独自にマッコウ鯨の研究会や、市民向けの講座開催等、今後に向けた取組を実施した。</p> <p>・令和3年度に本市で開催される「全国鯨フォーラム」のため、令和2年11月に山口県下関市で開催された「全国鯨フォーラム2020下関」に出席。次年度開催のための情報収集や関係者との打ち合わせを実施することができた。</p>							
成果に係る評価	<p>商業捕鯨が再開され、捕鯨政策に係る取組もこれまでの内容と違った活動が必要とされているが、商業捕鯨再開後の取組として、市民向けの講座等の開催により、捕鯨産業、文化の啓発の一助となる事業を実施することができた。次年度以降、効果的な事業を展開していく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	859,440		711,770				711,770	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		()	
実施計画掲載ページ	P 49		中 事 業	鯨食普及事業費				
事業コード	003-003-005-00165		事 業 名	鯨食普及事業				
目的及び事業内容	鯨食文化の維持継承及び普及促進並びに海洋食糧資源の持続的利用の啓発を図るため、市民等を対象とした鯨肉頒布等の活動を実施するもの。							
取組実績	1 住民頒布 冷凍鯨肉 頒布数量 12月（総合運動公園 2日） ミンク鯨赤肉 1,725 kg （水産総合振興センター 1日 ミンク鯨赤肉 584 kg （牡鹿地区 2日） ミンク鯨赤肉 987 kg 全体 ミンク鯨赤肉 3,296 kg							
	2 学校給食 保育所 年1回、幼稚園、小・中学校 年2回 合計 1,300kg							
	3 鯨肉試食会及び鯨加工勉強会 日本鯨類研究所の委託事業者と連携し、市民向け鯨肉試食会と事業者向け鯨加工勉強会を開催したほか、市内の鯨料理を提供している飲食店と鯨加工品を販売している販売店をまとめた「くじらマップ」を作成し、市内鯨関連施設へ配布した。							
成 果	令和2年度の住民頒布は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、十分な広さが確保できる会場へと変更したほか、検温や手指消毒、飛沫感染防止パネルの設置等の対策を入念に講じたうえで冬季のみの開催とした。 例年、夏季と冬季に頒布している数量を冬季のみの開催で頒布するほど大盛況であり、市民の鯨食に対する関心の高さがうかがえた。 また、学校給食において、年2回鯨料理を提供することで地域産業と文化の理解促進に努めたほか、日本鯨類研究所の委託事業者と連携し試食会及び勉強会を開催、販促ツール作成・配布したことで、鯨肉の消費拡大及び普及促進が図られた。							
成果に係る評価	商業捕鯨再開から2年が経過しようとしており、今後は、民間主導の鯨食普及事業へと移行していくべきであるが、捕鯨産業の維持には、行政の継続サポートが必要不可欠である。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	9,283,560	7,967,290			7,967,290			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()																																	
	2 目	水産業振興費		(3)	水産業者の経営体質の強化を図る		()																																	
実施計画掲載ページ	P 48		中 事 業	水産振興事業費																																				
事業コード	003-003-003-01115		事 業 名	担い手育成総合支援事業（水産業）																																				
目的及び事業内容	本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を活用し、短・中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。 また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。																																							
取組実績	1 水産業担い手センター運営事業 本事業は、新規就労者が気軽に漁業就業ができる環境を整えるため、漁業就業や漁業研修の住まい、拠点の場としての「水産業担い手センター」の整備・運営と、漁業研修の実施、求人活動、求人求職者間のマッチングを行う事業である。本事業は、地域や漁業者の理解が必要なことから、漁業協同組合との共同事業として実施しており、民間事業者へ事業を委託している。 (1) 担い手センターの運営 平成30年度までに整備した担い手センター5か所（荻浜地区、泉町地区、北上地区、渡波地区、雄勝地区）を運営。他県から移住し、漁業に従事する新規就業者の研修期間中～定住先が決定するまでの住まいとして運営している。 (2) 短期研修の実施 ①新型コロナウイルスの防止のため、例年行っている漁師学校（県内外から募集）は実施せず、感染防止措置後、各自が希望する漁業種の漁業者の基で短期研修（就労体験）を実施。 ②雇用者側の研修として、就業環境整備を目的に社会保険労務士による講習会を実施 (3) 求人活動の実施 オンラインによる就業フェアに参加。みやぎ漁業就業支援オンラインフェア（視聴者59名）、漁業就業支援フェア 大阪（面談者2名）、福岡（面談者2名） 2 担い手育成総合支援事業 担い手育成総合支援事業については、漁業協同組合などによる漁業就業支援フェアへの参加費用や新規就業による漁業活動に必要なフォークリフト等の資格取得に要する費用を補助し、新規就業確保活動を支援した。																																							
	令和元年度はWEBサイトや求人広告などから106件程度問い合わせがあり、短期研修14名、就労支援5名のサポートを行った。令和2年度末の就業者数は21名。うち正組員2名、准組員が1名。令和2年度の担い手センター利用者27名（短期利用者19名、入居者8名）																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>既就業者</th> <th>新規就業者</th> <th>離職者</th> <th>年度末就業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>6人</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>1人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>18人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>20人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">R2補助金交付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>独立支援</td> <td>1件 454,000円</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援</td> <td>6件 430,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7件 884,000円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	既就業者	新規就業者	離職者	年度末就業者	H29	6人	10人	6人	10人	H30	10人	9人	1人	18人	R 1	18人	5人	3人	20人	R 2	20人	5人	4人	21人	R2補助金交付件数		独立支援	1件 454,000円	資格取得支援	6件 430,000円	計
区分	既就業者	新規就業者	離職者	年度末就業者																																				
H29	6人	10人	6人	10人																																				
H30	10人	9人	1人	18人																																				
R 1	18人	5人	3人	20人																																				
R 2	20人	5人	4人	21人																																				
R2補助金交付件数																																								
独立支援	1件 454,000円																																							
資格取得支援	6件 430,000円																																							
計	7件 884,000円																																							
成 果	令和元年度はWEBサイトや求人広告などから106件程度問い合わせがあり、短期研修14名、就労支援5名のサポートを行った。令和2年度末の就業者数は21名。うち正組員2名、准組員が1名。令和2年度の担い手センター利用者27名（短期利用者19名、入居者8名）																																							
成果に係る評価	全国的に漁業就業者数は減少の一途をたどっており、漁業を職業として選択する若者が少ないことから、新規就業者の獲得には地道な活動が必要である。 漁業人口の減少は、漁獲量の減少を招き、他の産業への影響、消費者にも影響を及ぼすものであることから、漁業人口を維持していく必要がある。 現在、本市の事業は全国的に認知されており、漁業を志す数少ない若者からの問合せも増えており、着実に新規の漁業者を確保している。 これは、本事業が、単に就労のマッチングに留まらず、着業後のフォローを実施していることも大きな要因であり、持続可能な水産業を実現するために重要な事業と評価される。																																							
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	25,600,000	25,483,998			25,483,998																																			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																					
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()																					
	2 目	水産業振興費		(1)	水産資源や水環境の保全・管理に努める		()																					
実施計画掲載ページ		P47	中 事 業		水産振興事業費																							
事業コード		003-003-001-01423	事 業 名		水産多面的機能発揮対策事業																							
目的及び事業内容		<p>多くの水生生物の生活を支え、産卵や幼稚仔魚に生育の場を提供する“藻場”が減少する「磯焼け」が本市の沿岸においても発生している。そのため、水産資源の維持培養と環境保全を図る磯焼け対策事業を実施する漁業協同組合が主体の活動組織に対し、宮城県水域保全協議会を通して負担金を交付する。</p> <p>【事業内容】 藻場の保全、干潟の保全、種苗放流、漂着物堆積物処理、生態系の維持保全、等を実施する市内の活動組織の取り組みに応じて、宮城県水域保全協議会に負担金を支出する。</p>																										
取組実績		<p>1 令和2年度事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動組織</th> <th>実施内容</th> <th>実施場所</th> <th>実施規模</th> <th>負担金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISOP (宮城県漁協石巻地区支所)</td> <td>ウニの除去による藻場の保全 除去したウニの畜養</td> <td>佐須浜</td> <td>13ha</td> <td>1,712,357円</td> </tr> <tr> <td>継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)</td> <td>藻場の保全 (アカモク) 干潟の保全 (アサリ漁場の保全)</td> <td>万石浦</td> <td>16ha</td> <td>1,400,617円</td> </tr> <tr> <td>網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)</td> <td>ウニの除去による藻場の保全</td> <td>網地浜 長渡浜</td> <td>12ha</td> <td>1,436,000円</td> </tr> </tbody> </table>							活動組織	実施内容	実施場所	実施規模	負担金額	ISOP (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去による藻場の保全 除去したウニの畜養	佐須浜	13ha	1,712,357円	継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)	藻場の保全 (アカモク) 干潟の保全 (アサリ漁場の保全)	万石浦	16ha	1,400,617円	網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	ウニの除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	12ha	1,436,000円
活動組織	実施内容	実施場所	実施規模	負担金額																								
ISOP (宮城県漁協石巻地区支所)	ウニの除去による藻場の保全 除去したウニの畜養	佐須浜	13ha	1,712,357円																								
継承 奥の海 万石浦 (宮城県漁協石巻湾支所)	藻場の保全 (アカモク) 干潟の保全 (アサリ漁場の保全)	万石浦	16ha	1,400,617円																								
網地島振興協議会 磯焼け対策部会 (宮城県漁協網地島支所)	ウニの除去による藻場の保全	網地浜 長渡浜	12ha	1,436,000円																								
成 果		<p>実施初年度となった令和2年度は、3つの活動組織が発足し網地島を含む市内沿岸の計41haにおいて藻場の保全や干潟の保全に取り組んだ。磯焼けの原因と考えられるウニについては、およそ15トン、アサリに食害をもたらすサキグロタマツメタガイは、およそ360個体駆除された。これらの活動に対して、宮城県水域保全協議会を通して4,548,974円の負担金を支出した。</p>																										
成果に係る評価		<p>昨今の海洋環境の変化において「磯焼け」は、短期的に解決できる問題ではなく継続的に事業を実施していく必要がある。令和2年度は、3つの活動組織が発足し事業がスタートできた。今後も宮城県からの指導を仰ぎながら、各活動組織の数を増やしていく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	5,112,000		4,548,974					4,548,974																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		()																	
	2 目	水産業振興費		(1)	水産資源や水環境の保全・管理に努める		()																	
実施計画掲載ページ		P47	中 事 業		水産振興事業費																			
事業コード		003-003-001-01424	事 業 名		海岸漂着物地域対策推進事業																			
目的及び事業内容		<p>昨今の海岸・沖合には、海洋プラスチックごみを含む多くのごみが漂流・漂着しているため、ごみの削減、減量化に向け漁業者等が取り組む清掃活動等に要する費用の負担を国の支援を受け、市が実施することで、漁港及び海洋環境の保全を図ることを目的とするもの。</p> <p>【事業内容】 市内各漁港に漂着した海洋ごみや、海岸・沖合に漂流している海洋ごみの回収・処理を漁業協同組合等に委託し、ごみの削減、減量化に取り組む。</p>																						
取組実績		<p>1 令和2年度事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託先</th> <th>回収内容</th> <th>回収量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県漁協 石巻地区支所</td> <td>漁網、ロープ、木片等</td> <td>3.6m³</td> <td>352,000円</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協 石巻湾支所</td> <td>廃プラ、ビン類、金属、木くず</td> <td>ビン類130kg 金属70kg その他32.8m³</td> <td>1,650,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波漁船協同組合</td> <td>漁網等、木くず、金属くず</td> <td>金属36kg その他5.7m³</td> <td>1,265,000円</td> </tr> </tbody> </table>							委託先	回収内容	回収量	事業費	宮城県漁協 石巻地区支所	漁網、ロープ、木片等	3.6m ³	352,000円	宮城県漁協 石巻湾支所	廃プラ、ビン類、金属、木くず	ビン類130kg 金属70kg その他32.8m ³	1,650,000円	渡波漁船協同組合	漁網等、木くず、金属くず	金属36kg その他5.7m ³	1,265,000円
委託先	回収内容	回収量	事業費																					
宮城県漁協 石巻地区支所	漁網、ロープ、木片等	3.6m ³	352,000円																					
宮城県漁協 石巻湾支所	廃プラ、ビン類、金属、木くず	ビン類130kg 金属70kg その他32.8m ³	1,650,000円																					
渡波漁船協同組合	漁網等、木くず、金属くず	金属36kg その他5.7m ³	1,265,000円																					
成 果		<p>実施初年度となった令和2年度は、石巻湾周辺を中心に3団体に海洋ごみの回収・処理を委託し、3,267,000円の実績があった。放置状態だった海洋ごみの回収・処理に着手できた。</p>																						
成果に係る評価		<p>国、県の補助金を受け海洋ごみの回収・処理を促進する事業をスタートすることができた。海洋プラスチックごみ等、海洋ごみに対する関心が高まっており継続的に事業を実施し、対象とする漁港や海岸の数を増やしていく必要がある。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	3,267,000		3,267,000		2,776,000			491,000																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第 5 節	消費者に信頼される“石巻ブランド”を形成する		()	
	2 目	水産業振興費		(1)	石巻独自の技術開発や新産業を創出する		()	
実施計画掲載ページ	P 57		中 事 業	水産振興事業費				
事業コード	003-005-001-01300		事 業 名	石巻産食品輸出強化事業				
目的及び事業内容	石巻市の水産物及びその加工品の輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、輸出に関する取組みへの支援や輸出に必要な衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成する。							
取組実績	<p>令和2年度取組実績</p> <p>1 石巻食品輸出振興協議会 (1) 共同輸出に向けた体制強化 幹事会・事業者会議の開催、事業者ヒアリングの実施、商品リスト作成、相談体制の確立、衛生管理講習会の開催</p> <p>(2) 輸出拡大に向けた取り組み 補助内容の見直し・新規創設、バイヤーへの営業活動、オンライン商談会への参加、輸出販路拡大方針の検討</p> <p>2 水産加工業HACCP等導入支援事業 2回公募を行ったが、応募がなかった。</p>							
成 果	<p>石巻食品輸出振興協議会に加入している事業者へのアンケート調査の結果では、年々、輸出数量が増加しており、継続的な取組みによる成果が出てきているように感じる。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動に制限はあるものの、今後も事業者のサポートを行っていくこととしたい。</p> <p>また、水産加工業HACCP等導入支援事業については、令和2年度において2回公募を行ったが、認証取得に際しては、外部のコンサル業者が加工場内に立ち入ることが必要とされるため、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、応募する事業者がいなかった。しかしながら、衛生管理認証の取得は、市場における競争力確保のためには必要不可欠であることから、支援できる体制を継続していく必要がある。</p>							
成果に係る評価	<p>人口減少に伴い国内市場は縮小傾向にあるが、海外市場は消費者の所得向上、人口増加等により、市場が拡大している。</p> <p>このような背景を踏まえ、政府は、2030年までに5兆円という輸出額目標を掲げ、意欲的に取り組んでいくこととしており、本市においても、市産食品の輸出販路獲得・拡大に向けた取組みに対し、継続的に支援を行っていく必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	10,000,000	10,000,000			10,000,000			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第 3 節	持続的な水産業の発展を図る		()	
	5 目	漁港建設費		(2)	水産業の基盤整備を図る		()	
実施計画掲載ページ	P 48		中 事 業	水産物供給基盤機能保全事業費				
事業コード	003-003-002-01231		事 業 名	水産物供給基盤機能保全事業（市事業分）				
目的及び事業内容	<p>本市漁港施設の機能を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ計画により、効率的な維持管理や既存施設の長寿命化・ライフサイクルコストの縮減及び対策コストの平準化を図るもの。</p> <p>・管理漁港施設の機能保全計画の策定及び保全工事</p>							
取組実績	<p>1 水産物供給基盤機能保全事業 (1) 漁港施設機能保全計画策定業務（市内34漁港対象） 令和2年度においては、補助事業として5漁港・5地区、単独事業として2漁港・2地区、職員直接調査として16漁港・16地区の調査を実施した。</p> <p>予算額 153,512,300円（R1繰越143,512,300円、R2現年10,000,000円） 決算額 83,347,600円（R1繰越82,377,600円、R2現年970,000円） 繰越額 9,030,000円（R2現年9,030,000円）</p>							
成 果	<p>老朽化が進行する施設の機能保全コストの更なる縮減を図る事業であるが、近年の技術的知見の集積を踏まえ機能保全計画策定業務を行い、各施設の健全度が明確化された【A判定（機能が低下している）27施設、B判定（予防が必要）38施設】。</p>							
成果に係る評価	<p>本事業は、令和元年度より計画策定の取り組みを開始しているが、機能が損なわれている施設及び低下した施設を明確化し、計画的に保全工事を実施し、施設の強化につなげることができる事業である。健全度が明確化されたことにより、機能保全工事を実施すべき箇所を適正に判断することが可能となった。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	144,482,300	83,347,600	41,510,000	36,700,000			5,137,600	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																
	3 項	水産業費				(1)	海とともに生きる																																
	6 目	東日本大震災関係費				(3)	被災水産業への再建支援																																
実施計画掲載ページ		P195	中 事 業		漁業集落防災機能強化事業費																																		
事業コード		003-103-001-00544	事 業 名		漁業集落防災機能強化事業〔復興交付金〕																																		
目的及び事業内容		東日本大震災により被災した漁業集落について、土地利用の再検討や集落の復興並びに防災機能の強化を図り、生活基盤の復興を推進するため、集落道、避難路、排水路及び水産関係用地等の整備を行うもの。																																					
取 組 実 績		漁業集落防災機能強化事業に係る下記事業等を実施した。 1 復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等工事施工等に関する一体的業務 1,906,105,619円 2 復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等管理支援（その2）業務 184,203,730円 3 漁業集落防災機能強化事業他調査等業務 160,220,160円 4 漁業集落防災機能強化事業他境界杭復元等測量業務 89,873,240円 5 用地取得及び物件等移転補償 24筆、45件																																					
成 果		上記事業の実施により10集落が完成し、被災した集落の復興や防災機能の強化が図られた。 ○ 整備集落数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>漁集事業のみ</th> <th>漁集及び低平地事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象集落</td> <td>7</td> <td>50</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>完成集落</td> <td>6</td> <td>38</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td> うち平成28年度</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> うち平成29年度</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td> うち平成30年度</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td> うち令和元年度</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td> うち令和2年度</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>							漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計	対象集落	7	50	57	完成集落	6	38	44	うち平成28年度	2	1	3	うち平成29年度	1	8	9	うち平成30年度	2	10	12	うち令和元年度	1	9	10	うち令和2年度	0	10	10
	漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計																																				
対象集落	7	50	57																																				
完成集落	6	38	44																																				
うち平成28年度	2	1	3																																				
うち平成29年度	1	8	9																																				
うち平成30年度	2	10	12																																				
うち令和元年度	1	9	10																																				
うち令和2年度	0	10	10																																				
成果に係る評価		半島沿岸部は市中心部から遠隔地にあり、業者や労務の確保が困難であることに加え、関連事業の入札不調や自然災害等の外的要因により工期に遅れが生じたことから、23集落のうち10集落の完成にとどまった。残る13集落においても漁業生産基盤の再生のため、他事業と連携を図りながら事業の早期完成を目指す。																																					
予算の執行状況		(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	2,530,156,280	2,370,031,946			1,792,954,000	577,077,946																																	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費				(1)	海とともに生きる
	6 目	東日本大震災関係費				(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業		漁港施設機能強化事業費		
事業コード		003-102-001-00415	事 業 名		漁港災害復旧関連事業〔復興交付金〕		
目的及び事業内容		本市が管理する漁港施設のうち、東日本大震災災害復旧事業の対象とならない工事（漁港用地高上げ工事等）及び災害復旧事業と併せて改良等が必要な施設について整備を行うもの。また、本市管理漁港施設台帳の電子化を行うもの。					
成 果		1 漁港施設機能強化事業 (1) 災害復旧事業と併せ漁港用地の高上げ工事等及びタラップ設置工事を実施し、施設の復旧を図った。 また、施設の維持管理を適切に行うため、漁港台帳の電子化業務を行った。 ア 漁港施設復旧・改良工事（令和2年度において34漁港全て完了） 北上（大室）漁港防波堤・護岸改良工事一式 長面漁港護岸・船揚場改良工事一式 小淵漁港土砂運搬、コンクリート除去工事一式 明神・名振漁港等用地高上げ工事等一式 予算額 491,442,402円（H30繰越37,731,000円、R1繰越321,381,402円、R2現年132,330,000円） 決算額 458,143,160円（H30繰越23,202,900円、R1繰越302,610,260円、R2現年132,330,000円） イ 避難誘導施設整備工事（令和2年度において業務完了） 小網倉漁港タラップ設置工事（2基設置） 予算額 215,000円（R2現年215,000円） 決算額 214,500円（R2現年214,500円） ウ 漁港施設台帳電子化業務（令和2年度において12漁港分を実施。全漁港の電子化業務が完了） 予算額 38,993,900円（H30繰越2,993,900円、R2現年36,000,000円） 決算額 38,993,900円（H30繰越2,993,900円、R2現年36,000,000円）					
成果に係る評価		水産基盤施設の復旧に努め、漁港施設災害復旧事業に関連する事業を実施することで沿岸漁業の復旧・復興の進捗が図られた。また、漁港施設台帳の電子化については、紙ベースであった台帳を電子化することで、津波による流出等災害の影響を受けないシステムを構築し安全性を向上させた。					
成果に係る評価		本事業の完了により、沿岸漁業の振興に寄与した。また、漁港施設台帳の電子化により、スマホ及びタブレットの活用による拡張性もあり、災害時現地閲覧対応等各事業への迅速化が図られる。					
予算の執行状況		(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	530,651,302	497,351,560			376,131,000	121,220,560	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる	
	3 項	水産業費				(1)	海とともに生きる	
	6 目	東日本大震災関係費				(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興	
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業		漁港海岸整備事業費			
事業コード		003-102-001-00533	事 業 名		海岸保全施設整備事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		<p>本市が管理する漁港海岸のうち、震災以前より整備されていた既存の海岸保全施設については、災害復旧事業により復旧を行っている。</p> <p>しかし、その復旧工事において津波防護高が変更されたことにより保全施設が既存より延長される場合は、災害復旧事業の対象とならないことから、本事業により防潮堤や水門及び陸開等の整備を行うものである。</p> <p>また、陸開・水門遠隔監視制御システム工事を行うもの。</p>						
取組実績		<p>1 海岸保全施設整備事業</p> <p>(1) 海岸保全施設整備等工事及び陸開・水門遠隔監視制御システム工事</p> <p>海岸保全施設整備工事等一式（名振、船越、荒、十八成浜、小淵、給分、大原、折ノ浜）</p> <p>令和2年度においては、被災した18漁港海岸災害復旧工事と併せ工事を行い、8漁港海岸の本体工事が完成した。延長は、災害復旧工事と併せた総延長10.8kmのうち約8.4kmの整備を実施した。</p> <p>工事は令和2年度で完了した。</p> <p>陸開・水門遠隔監視制御システム工事一式（名振、荒、十八成浜、小淵、給分、大原、折ノ浜）</p> <p>遠隔化については、建築工事・システム電機工事・システム工事の3つの分野別工事として着手し、そのうち建築工事において令和2年度までに10棟が完了した。</p> <p>予算額 1,057,570,020円（H30繰越246,721,020円、R1繰越673,119,000円、R2現年137,730,000円）</p> <p>決算額 737,279,070円（H30繰越244,699,640円、R1繰越491,453,173円、R2現年1,126,257円）</p> <p>繰越額 237,799,900円（R1繰越107,799,900円、R2現年130,000,000円）</p>						
成 果		海岸保全施設整備事業において災害復旧事業と連携して工事を行い、防災機能を向上させた。						
成果に係る評価		海岸保全施設が完成したことにより、防災機能の安全性を高めることができた。また、陸開・水門の電動化により、閉扉時間を短縮することができた。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	819,770,120		737,279,070		360,696,000		11,800,000	364,783,070

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 4 章	復興計画	()	安心して健やかに暮らせるまち	
	3 項	水産業費				第 7 節	災害に対する備えを充実する	
	6 目	東日本大震災関係費				(1)	自然災害による被害を軽減する	
実施計画掲載ページ		P110	中 事 業		漁港海岸整備事業費			
事業コード		004-007-001-01366	事 業 名		海岸堤防等老朽化対策事業			
目的及び事業内容		海岸堤防や水門等海岸保全施設の長寿命化を図るとともに、老朽化対策事業を計画的に推進するため、長寿命化計画の策定及び工事を実施する。						
取組実績		<p>1 漁港海岸整備事業</p> <p>(1) 漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務</p> <p>（谷川、小淵、十八成、池ノ浜、給分、大原、小網倉、侍浜、小竹、折ノ浜、水浜分浜、明神、名振、船越、荒、尾ノ崎、長面、北上）</p> <p>予算額 98,800,000円（R2現年）</p> <p>決算額 4,200,000円（R2現年）</p> <p>繰越額 94,600,000円（R2現年）</p>						
成 果		海岸堤防や水門等、海岸保全施設の老朽化対策に係る漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務を実施し、事業の推進を図った。						
成果に係る評価		本事業は、令和2年度より計画策定の取り組みを開始しているが、海岸堤防や水門等海岸保全施設の長寿命化を図るとともに、老朽化対策事業を計画的に推進するため、長寿命化計画の策定を早期に完了できるよう引き続き適切に取り組むことが重要である。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,200,000		4,200,000		2,115,000	1,900,000		185,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																																																																		
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																																																																																		
	6 目	東日本大震災関係費		()		(2)	漁港及び魚市場の復旧・復興																																																																																		
実施計画掲載ページ	P195		中 事 業	水産物放射性物質対策事業費																																																																																					
事業コード	003-102-003-00421	事 業 名	放射能風評被害対策事業																																																																																						
目的及び事業内容	<p>東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。</p> <p>放射性物質測定機器等の風評被害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易測定器による放射能検査の実施 ・放射能情報共有システムによる情報配信 																																																																																								
取組実績	<p>1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用</p> <p>本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ペクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。</p> <p>(1) 令和2年度決算 18,505千円 年間検査検体数 1,170検体検査済み (うち精密検査実施目安50ペクレル超過 0検体)</p> <p>※ 本市水産物の放射性物質検査体制 (令和3年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器台数</th> <th>検査時間</th> <th>検査日</th> <th>検査能力</th> <th>検査人員</th> <th>検査対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻売場</td> <td>5台</td> <td>4:00~12:00</td> <td>市場開場日</td> <td>50検体/日</td> <td>2名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>牡鹿売場</td> <td>1台</td> <td>9:00~16:00</td> <td>月~金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>北上総合支所</td> <td>1台</td> <td>9:00~16:00</td> <td>月~金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 放射能情報共有システムによる情報配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信 ・日々の放射性物質測定結果速報の配信 							設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	5台	4:00~12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等	北上総合支所	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																						
	設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																																																																		
	石巻売場	5台	4:00~12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等																																																																																		
牡鹿売場	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																			
北上総合支所	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																			
成 果	<p>本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。</p> <p>1 市場流通数（魚種）及び年間検査検体数（検体）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H23</td> <td>120魚種</td> <td>71魚種</td> <td>59%</td> <td rowspan="2">H28</td> <td>80魚種</td> <td>76魚種</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>2,000検体</td> <td>441検体</td> <td>22%</td> <td>4,000検体</td> <td>3,736検体</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>120魚種</td> <td>119魚種</td> <td>99%</td> <td rowspan="2">H29</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,239検体</td> <td>105%</td> <td>4,000検体</td> <td>2,861検体</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H25</td> <td>120魚種</td> <td>92魚種</td> <td>77%</td> <td rowspan="2">H30</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,906検体</td> <td>118%</td> <td>4,000検体</td> <td>1,759検体</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>120魚種</td> <td>121魚種</td> <td>101%</td> <td rowspan="2">R1</td> <td>80魚種</td> <td>55魚種</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,858検体</td> <td>97%</td> <td>4,000検体</td> <td>1,132検体</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>120魚種</td> <td>63魚種</td> <td>53%</td> <td rowspan="2">R2</td> <td>70魚種</td> <td>61魚種</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,103検体</td> <td>82%</td> <td>3,500検体</td> <td>1,170検体</td> <td>33%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	区分	成果指標		達成率	目標値	実績	目標値	実績	H23	120魚種	71魚種	59%	H28	80魚種	76魚種	95%	2,000検体	441検体	22%	4,000検体	3,736検体	93%	H24	120魚種	119魚種	99%	H29	80魚種	69魚種	86%	5,000検体	5,239検体	105%	4,000検体	2,861検体	72%	H25	120魚種	92魚種	77%	H30	80魚種	69魚種	86%	5,000検体	5,906検体	118%	4,000検体	1,759検体	44%	H26	120魚種	121魚種	101%	R1	80魚種	55魚種	68%	5,000検体	4,858検体	97%	4,000検体	1,132検体	28%	H27	120魚種	63魚種	53%	R2	70魚種	61魚種	87%	5,000検体	4,103検体	82%	3,500検体	1,170検体	33%
	区分	成果指標		達成率	区分	成果指標			達成率																																																																																
		目標値	実績			目標値	実績																																																																																		
H23	120魚種	71魚種	59%	H28	80魚種	76魚種	95%																																																																																		
	2,000検体	441検体	22%		4,000検体	3,736検体	93%																																																																																		
H24	120魚種	119魚種	99%	H29	80魚種	69魚種	86%																																																																																		
	5,000検体	5,239検体	105%		4,000検体	2,861検体	72%																																																																																		
H25	120魚種	92魚種	77%	H30	80魚種	69魚種	86%																																																																																		
	5,000検体	5,906検体	118%		4,000検体	1,759検体	44%																																																																																		
H26	120魚種	121魚種	101%	R1	80魚種	55魚種	68%																																																																																		
	5,000検体	4,858検体	97%		4,000検体	1,132検体	28%																																																																																		
H27	120魚種	63魚種	53%	R2	70魚種	61魚種	87%																																																																																		
	5,000検体	4,103検体	82%		3,500検体	1,170検体	33%																																																																																		
成果に係る評価	<p>市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。</p> <p>国の検査対象魚種は年々減少傾向にあるものの、国内（関西以南）や国外における風評被害は依然残存しており、さらにトリチウムなどを含む処理水の海洋放出の決定も受け、風評被害が加速することが懸念されている。特に、国外においては現在も20カ国が日本産食品の輸入規制を行っており、引き続き風評被害の払拭に努めるべきであるが、今後は検体数の減少に伴い検査体制の集約や検査時間の縮小等の事業見直しが必要である。</p>																																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																			
	19,532,000	18,504,137				18,504,137																																																																																			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる															
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる															
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援															
実施計画掲載ページ	P197		中 事 業	水産業復興対策費																		
事業コード	003-103-002-00952	事 業 名	漁業活動ソーラー照明設置事業〔復興交付金〕																			
目的及び事業内容	<p>漁業活動の多くは夜間や早朝の暗い時間帯に行われるため、漁港には照明設備が必要不可欠である。震災により漁港内の照明設備が使用不能となったことから、漁業者の作業効率と安全を確保するため、照明を設置するもの。</p> <p>なお、有事の際に非常照明として機能するよう、停電の影響を受けないソーラー式LED照明を設置する。</p>																					
取組実績	<p>1 令和2年度事業実績</p> <p>(1) ソーラー式LED照明設置事業</p> <p>復旧工事が完了した漁港の状況に合わせ、夜間の漁業活動の安全性を確保するためのソーラー照明灯を追加設置したものの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>漁港名</th> <th>移設灯数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長面漁港</td> <td>5</td> <td>8,866,000円</td> </tr> <tr> <td>大原漁港</td> <td>2</td> <td>4,180,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ソーラー式LED照明移設事業</p> <p>漁港の復旧工事により、漁業者が照明を必要とする場所が変わることから、使用状況に合わせ照明灯を移設したものの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>移設漁港数※</th> <th>移設灯数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>24</td> <td>10,781,650円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大室、牧ノ浜、名振、船越、荒、宇島、羽坂、鮎川、長渡、池ノ浜</p>							漁港名	移設灯数	事業費	長面漁港	5	8,866,000円	大原漁港	2	4,180,000円	移設漁港数※	移設灯数	事業費	10	24	10,781,650円
	漁港名	移設灯数	事業費																			
	長面漁港	5	8,866,000円																			
大原漁港	2	4,180,000円																				
移設漁港数※	移設灯数	事業費																				
10	24	10,781,650円																				
成 果	<p>本市の漁港については、東日本大震災による被害の程度が大きく、現在も復旧中の漁港があるものの、工事の進捗状況から概ね、照明灯設置場所の特定が可能となったため、全299灯のソーラー式照明灯の設置を完了した。</p>																					
	成果に係る評価	<p>漁業者の必要な場所への明かりの提供により、震災後の照明灯がない状態での海への転落、転倒事故がなくなり、安全な漁業活動が行われている。また、各浜の実情に合わせて設置をしており、作業効率の向上が図られた。</p>																				
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	23,828,000	23,827,650			17,870,000	5,957,650																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																													
	3 項	水産業費		第 節		(1)	海とともに生きる																													
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	被災水産業への再建支援																													
実施計画掲載ページ	P197		中 事 業	水産業復興対策費																																
事業コード	003-103-002-01190		事 業 名	水産業従業員宿舍整備事業〔復興基金〕																																
目的及び事業内容	東日本大震災により被害を受けた本市の基幹産業の水産業の生産能力向上のため、中小水産業者等が実施する従業員確保（外国人実習生含む）のための宿舍整備を宮城県と協調して支援することにより、水産業の復興を促進するもの。 従業員の宿舍を整備するため、宮城県が実施する「水産業従業員宿舍整備事業費補助金」に対する嵩上げ補助を行うもの。																																			
取組実績	1 令和2年度事業実績 宮城県の公募事業に採択された事業者のうち石巻市内の事業者が13者あり、令和2年度内に1者完了し補助金を交付した。完了できなかった12者については、令和3年度へ繰越しとなった。 また、令和元年度に採択され令和2年度へ繰越しとなっていた3者については、事業が完了し3者全てに補助金を交付した。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13者</td> <td>1者</td> <td>2,100,000円</td> <td>525,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6者</td> <td>3者</td> <td>105,168,770円</td> <td>24,793,225円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19者</td> <td>4者</td> <td>107,268,770円</td> <td>25,318,225円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (次年度繰越分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>補助金交付決定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>378,215,801円</td> <td>85,582,083円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考	令和2年度	13者	1者	2,100,000円	525,000円		令和元年度	6者	3者	105,168,770円	24,793,225円		合計	19者	4者	107,268,770円	25,318,225円		年度	事業費	補助金交付決定額	令和2年度	378,215,801円
年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考																															
令和2年度	13者	1者	2,100,000円	525,000円																																
令和元年度	6者	3者	105,168,770円	24,793,225円																																
合計	19者	4者	107,268,770円	25,318,225円																																
年度	事業費	補助金交付決定額																																		
令和2年度	378,215,801円	85,582,083円																																		
成 果	東日本大震災により被害を受けた本市水産業の雇用回復のため、中小の水産事業者等が従業員（外国人実習生含む）確保のための宿舍整備に対し、平成27年度から、宮城県が補助事業を実施している。本市においても嵩上げ補助を実施することで、事業者の負担が軽減され、本事業の利用が促進され、水産事業者の雇用環境が整備された。																																			
成果に係る評価	震災後、漁業従事者及び水産加工業従業員の確保が課題となっており、各事業者においても、課題解決に向け労働環境の整備や外国人技能実習生の受入に取り組んでいるところである。各事業者が行う雇用対策と並行し、本事業を通して自社の宿舍を整備したことで、従事者の生活環境の充実と住環境にかかる経費の軽減が図られた。 本事業は令和2年度で終了となるが、事業開始から累計で49者を採択しており、本市水産業の雇用対策促進と経営の安定化が図られた。																																			
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	25,383,775	25,318,225			25,318,225																															

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	()	
	3 項	水産業費		第 節		()	
	6 目	東日本大震災関係費		()		()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	さけ人工ふ化場整備事業費			
事業コード			事 業 名	さけ人工ふ化場整備事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容	稚魚を放流して数年後に漁獲する「さけ」は、沿岸漁業の重要な収入源となっており、さけ人工ふ化場で生産した稚魚の放流が地域の漁業者の漁獲を支えてきた。しかし、雄勝・大原川、牡鹿・後川の両ふ化場は震災で壊滅的な被害を受けたため、さけ人工ふ化場の復旧整備を行ってきた。 ふ化場を本復旧させることで、本施設で生産した稚魚を放流し、安定した漁獲量に戻すことで、被災した漁業者の生業の再生を図る。						
取組実績	1 大原川さけ人工ふ化場整備事業 (1)大原川さけ人工ふ化場送水管工事 繰越明許となっていた台風19号により被災した大原川さけ人工ふ化場の井戸送水管を再敷設する工事が令和3年2月に完了した。 契約額：22,770,000円 支出額：22,770,000円 工 期：令和2年5月7日～令和3年2月26日						
	2 後川さけ人工ふ化場整備事業 (1)後川さけ人工ふ化場整備工事（越水対策工事） 地盤沈下により大雨等で増水する後川から、ふ化場施設への越水を防ぐための擁壁整備工事が令和2年11月に完了した。 契約額：12,496,000円 支出額：12,496,000円 工 期：令和2年8月6日～令和2年11月30日						
成 果	大原川さけ人工ふ化場の井戸送水管については、令和元年10月の台風19号の被害により再敷設工事が必要となり、予算の繰越明許により令和3年2月に工事が完了した。同じく台風19号の被害を受けた後川さけ人工ふ化場については、地盤沈下に対応するための越水対策擁壁の整備工事が令和2年11月に完了し、両ふ化場の復旧整備は完了した。						
成果に係る評価	令和2年度で、さけ人工ふ化場施設の復旧整備が完了した。 沿岸での定置網や刺し網で漁獲される「さけ」は漁業者の重要な収入であるものの、近年、漁獲量が減少しているため、本事業による施設の復旧により、健康な稚魚を生産し、放流することで、回帰率の向上、水揚げ量の増加につなげていく。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	35,496,000	35,266,000			26,449,000	8,817,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																																					
	3 項	水産業費				(1)	海とともに生きる																																																					
	6 目	東日本大震災関係費				()	被災水産業への再建支援																																																					
実施計画掲載ページ	P 196		中 事 業	水産業復興対策費																																																								
事業コード	003-103-001-01278		事 業 名	番屋等施設整備事業〔復興交付金〕																																																								
目的及び事業内容	東日本大震災前に、漁港区域や漁業集落地に所在した番屋機能（集会施設、共同作業場、民間所有の番屋など）が震災により消失したため、漁業の合間の休憩・トイレや、漁業に関する情報共有のための会議を行う場所がなく漁業活動に支障をきたしていることから、休憩、共同作業、会議等を行うことができる番屋等の整備を行うもの。																																																											
取組実績	1 令和2年度事業実績 予算の繰越明許により5棟の番屋等施設が完成し、11棟すべてが完成した。																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番屋名</th> <th>設備</th> <th>進捗状況</th> <th>工事請負額</th> <th>うちR2実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名振番屋</td> <td>番屋</td> <td>R2完成</td> <td>14,758,700円</td> <td>14,758,700円</td> </tr> <tr> <td>小浜番屋</td> <td>トイレ</td> <td>R2完成</td> <td rowspan="2">31,211,400円</td> <td rowspan="2">16,031,400円</td> </tr> <tr> <td>船越番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>R2完成</td> </tr> <tr> <td>大須番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>R1完成</td> <td>17,460,300円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>熊沢番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>R1完成</td> <td>17,228,640円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>立浜番屋</td> <td>番屋</td> <td>R1完成</td> <td>12,525,700円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>寄磯浜番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>R1完成</td> <td>16,141,400円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>前網浜番屋</td> <td>トイレ</td> <td>R1完成</td> <td rowspan="2">19,811,000円</td> <td rowspan="2">0円</td> </tr> <tr> <td>鮫浦番屋</td> <td>番屋</td> <td>R1完成</td> </tr> <tr> <td>菰浜番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>R2完成</td> <td rowspan="2">40,097,200円</td> <td rowspan="2">40,097,200円</td> </tr> <tr> <td>仁斗田番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>R2完成</td> </tr> </tbody> </table> <p>仁斗田番屋の各種検査に伴う旅費27,500円</p>							番屋名	設備	進捗状況	工事請負額	うちR2実績	名振番屋	番屋	R2完成	14,758,700円	14,758,700円	小浜番屋	トイレ	R2完成	31,211,400円	16,031,400円	船越番屋	トイレ付番屋	R2完成	大須番屋	トイレ付番屋	R1完成	17,460,300円	0円	熊沢番屋	トイレ付番屋	R1完成	17,228,640円	0円	立浜番屋	番屋	R1完成	12,525,700円	0円	寄磯浜番屋	トイレ付番屋	R1完成	16,141,400円	0円	前網浜番屋	トイレ	R1完成	19,811,000円	0円	鮫浦番屋	番屋	R1完成	菰浜番屋	トイレ付番屋	R2完成	40,097,200円	40,097,200円	仁斗田番屋	トイレ付番屋
番屋名	設備	進捗状況	工事請負額	うちR2実績																																																								
名振番屋	番屋	R2完成	14,758,700円	14,758,700円																																																								
小浜番屋	トイレ	R2完成	31,211,400円	16,031,400円																																																								
船越番屋	トイレ付番屋	R2完成																																																										
大須番屋	トイレ付番屋	R1完成	17,460,300円	0円																																																								
熊沢番屋	トイレ付番屋	R1完成	17,228,640円	0円																																																								
立浜番屋	番屋	R1完成	12,525,700円	0円																																																								
寄磯浜番屋	トイレ付番屋	R1完成	16,141,400円	0円																																																								
前網浜番屋	トイレ	R1完成	19,811,000円	0円																																																								
鮫浦番屋	番屋	R1完成																																																										
菰浜番屋	トイレ付番屋	R2完成	40,097,200円	40,097,200円																																																								
仁斗田番屋	トイレ付番屋	R2完成																																																										
成 果	【事業の進捗】																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>完成実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>11棟</td> <td>6棟</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11棟</td> <td>11棟</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	完成実績	R1	11棟	6棟	55%	R2	11棟	11棟	100%																																							
区分	成果指標		達成率																																																									
	目標値	完成実績																																																										
R1	11棟	6棟	55%																																																									
R2	11棟	11棟	100%																																																									
成果に係る評価	全ての番屋施設が完成し、施設が所在する漁業集落地における、漁業活動の環境改善が図られた。																																																											
(単位：円)																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	80,161,236	70,914,800			56,709,000	14,205,800																																																						

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 4 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																							
	1 項	商工費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																							
	2 目	商工業振興費				(1)	被災者への生活支援																																							
実施計画掲載ページ	P 110 P 183		中 事 業	消費者行政事業費																																										
事業コード	004-006-003-01328 002-101-003-00358		事 業 名	消費者行政対策事業																																										
目的及び事業内容	消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。																																													
取組実績	1 ラジオ石巻による啓発 週3回、2分程度の放送により悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。 2 地元紙「石巻かほく」への記事掲載 毎月第4土曜日、5段1/4スペースに様々な消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。 3 消費者講演会等の実施 (1)市内小中高生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（計2回開催、58名参加） ・万石浦小学校6年生（2クラス） (2)市民を対象とした出前講座「消費者被害にあわないために」の開催（計1回、23名参加） 4 啓発グッズの作製 高齢者等の詐欺被害防止を目的とした啓発用品の作製 （ビニールポーチ 10,000個）																																													
	消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。																																													
成 果	1 消費生活相談実績																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金融・保険</th> <th>通信・運輸</th> <th>リース・賃貸</th> <th>工事・建築</th> <th>その他</th> <th>相談件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>176件</td> <td>132件</td> <td>67件</td> <td>34件</td> <td>719件</td> <td>1,128件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>218件</td> <td>163件</td> <td>67件</td> <td>21件</td> <td>636件</td> <td>1,105件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>208件</td> <td>146件</td> <td>65件</td> <td>24件</td> <td>642件</td> <td>1,085件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	H30	176件	132件	67件	34件	719件	1,128件	R1	218件	163件	67件	21件	636件	1,105件	R2	208件	146件	65件	24件	642件	1,085件											
年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																																								
H30	176件	132件	67件	34件	719件	1,128件																																								
R1	218件	163件	67件	21件	636件	1,105件																																								
R2	208件	146件	65件	24件	642件	1,085件																																								
成果に係る評価	2 多重債務相談件数（年代別）																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>※()内は割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10～20代</td> <td>12人 (9.5%)</td> <td>11人 (7.0%)</td> <td>25人 (15.2%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>20人 (15.9%)</td> <td>25人 (15.9%)</td> <td>21人 (12.7%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>22人 (17.5%)</td> <td>28人 (17.8%)</td> <td>24人 (14.5%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>23人 (18.2%)</td> <td>36人 (22.9%)</td> <td>34人 (20.6%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60代以上</td> <td>49人 (38.9%)</td> <td>50人 (31.9%)</td> <td>61人 (37.0%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>0人 (0%)</td> <td>7人 (4.5%)</td> <td>0人 (0%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>126人</td> <td>157人</td> <td>165人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							区分	H30	R1	R2	※()内は割合	10～20代	12人 (9.5%)	11人 (7.0%)	25人 (15.2%)		30代	20人 (15.9%)	25人 (15.9%)	21人 (12.7%)		40代	22人 (17.5%)	28人 (17.8%)	24人 (14.5%)		50代	23人 (18.2%)	36人 (22.9%)	34人 (20.6%)		60代以上	49人 (38.9%)	50人 (31.9%)	61人 (37.0%)		不明	0人 (0%)	7人 (4.5%)	0人 (0%)		合計	126人	157人	165人
区分	H30	R1	R2	※()内は割合																																										
10～20代	12人 (9.5%)	11人 (7.0%)	25人 (15.2%)																																											
30代	20人 (15.9%)	25人 (15.9%)	21人 (12.7%)																																											
40代	22人 (17.5%)	28人 (17.8%)	24人 (14.5%)																																											
50代	23人 (18.2%)	36人 (22.9%)	34人 (20.6%)																																											
60代以上	49人 (38.9%)	50人 (31.9%)	61人 (37.0%)																																											
不明	0人 (0%)	7人 (4.5%)	0人 (0%)																																											
合計	126人	157人	165人																																											
成果に係る評価	消費者被害を防ぐため、地元紙や地元ラジオ局などによる注意喚起を行っているが、相談件数は依然として年間1,000件を超えている状況にある。中でも多重債務の相談件数は年々増加傾向にあり、特に20代の若者や60代以上からの相談が増えている。今後も各年齢層に合わせた広報・啓発事業の充実を図るとともに、消費者被害の注意喚起として各種事業を継続する必要がある。																																													
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	12,839,000	12,135,428	1,881,724			10,253,704																																								

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																																											
	1 項	商工費		第 節			()																																											
	2 目	商工業振興費		()			()																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業	商工業振興事業費																																														
事業コード			事 業 名	商業団体支援事業																																														
目的及び事業内容		地方を取り巻く厳しい経済情勢のなか市内における地域商工業の総合的な改善・発達を図るために重要な組織である商工会議所、商工会に対し補助金を交付することで、市内商工業者の振興・育成、地域商工業の発展だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響によって悪化している地域経済への支援に資することを目的としている。																																																
取 組 実 績		<p>1 商工業振興対策事業費補助金 3,000,000円 既存産業の振興育成、中心市街地活性化に係る各種事業等に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>2 中小企業振興対策事業費補助金 3,000,000円 中小企業相談所における経営改善普及事業（巡回相談、窓口相談等による金融、経営等の指導育成事業）に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>3 商工会事業費補助金 22,092,000円 各地域の小規模事業者の経営改善普及事業、一般指導事業に対する各商工会への補助 (1) 石巻市牡鹿稲井商工会 4,756,000円 (2) 石巻かほく商工会 9,136,000円 (3) 河南桃生商工会 8,200,000円 平成28年度に3商工会の補助金算出根拠※を明確にし、平成29年度から5年かけて調整することとしている。 ※会員割単価（会員の指導及び福利厚生等にかかる経費を3商工会の全会員数で按分）と運営費割単価（商工会の運営にかかる経費を3商工会の全職員数で按分）に各商工会の会員数を乗じて算出</p>																																																
成 果		<p>商工会議所及び3商工会の経営指導員と事務職員が積極的に巡回指導を行い、経営分析や財務分析、事業計画策定の問題、課題解決のための支援を行った。</p> <p>集団指導については、新型コロナウイルス感染症対策のため開催を控え縮小したが、通常業務のほかに新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対して、各機関の支援制度の相談窓口を設置し、資金繰りや補助金申請等の経営相談を行った。</p> <p>※令和2年度の商工会議所・3商工会会員数及び指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>石巻 商工会議所</th> <th>牡鹿稲井 商工会</th> <th>石巻かほく 商工会</th> <th>河南桃生 商工会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末会員数</td> <td>2,105 人</td> <td>282 人</td> <td>453 人</td> <td>446 人</td> <td>3,286 人</td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td>5,937 件</td> <td>2,697 件</td> <td>3,324 件</td> <td>2,262 件</td> <td>14,220 件</td> </tr> <tr> <td>巡回指導件数</td> <td>1,173 件</td> <td>986 件</td> <td>1,493 件</td> <td>1,021 件</td> <td>4,673 件</td> </tr> <tr> <td>窓口指導件数</td> <td>3,293 件</td> <td>1,640 件</td> <td>1,698 件</td> <td>1,210 件</td> <td>7,841 件</td> </tr> <tr> <td>集団指導件数</td> <td>1,083 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>8 件</td> <td>1,091 件</td> </tr> <tr> <td>個別指導件数</td> <td>388 件</td> <td>71 件</td> <td>133 件</td> <td>23 件</td> <td>615 件</td> </tr> </tbody> </table>								石巻 商工会議所	牡鹿稲井 商工会	石巻かほく 商工会	河南桃生 商工会	合計	年度末会員数	2,105 人	282 人	453 人	446 人	3,286 人	指導件数	5,937 件	2,697 件	3,324 件	2,262 件	14,220 件	巡回指導件数	1,173 件	986 件	1,493 件	1,021 件	4,673 件	窓口指導件数	3,293 件	1,640 件	1,698 件	1,210 件	7,841 件	集団指導件数	1,083 件	0 件	0 件	8 件	1,091 件	個別指導件数	388 件	71 件	133 件	23 件	615 件
	石巻 商工会議所	牡鹿稲井 商工会	石巻かほく 商工会	河南桃生 商工会	合計																																													
年度末会員数	2,105 人	282 人	453 人	446 人	3,286 人																																													
指導件数	5,937 件	2,697 件	3,324 件	2,262 件	14,220 件																																													
巡回指導件数	1,173 件	986 件	1,493 件	1,021 件	4,673 件																																													
窓口指導件数	3,293 件	1,640 件	1,698 件	1,210 件	7,841 件																																													
集団指導件数	1,083 件	0 件	0 件	8 件	1,091 件																																													
個別指導件数	388 件	71 件	133 件	23 件	615 件																																													
成果に係る評価		後継者不足や新型コロナウイルス感染症の影響等、地域事業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、中小企業相談所における経営改善普及事業として、通常業務である経営指導員による巡回指導や窓口相談などによる金融、経営等の指導育成に対する事業の実施だけでなく、新型コロナウイルス感染症にかかる地元企業の支援を行うことで、地域商工業の振興に資することができた。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	28,100,000	28,092,000				28,092,000																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元 気産業を創造するまち	復興計画	()																										
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																										
	2 目	商工業振興費		(1)	魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る		()																										
実施計画掲載ページ			P 58	中 事 業	商工業振興事業費																												
事業コード		003-007-001-01052	事 業 名	商店街再生加速化支援事業																													
目的及び事業内容		東日本大震災による環境の変化や少子高齢化などの社会問題への対応能力をもち、将来にわたって持続的に地域商業を支えることのできる発展的な商店街の構築、情報発信や地域魅力創出事業を展開することにより、中心市街地商店街の認知度及び中心市街地における回遊性の向上を図るため補助金を交付するもの。																															
取 組 実 績		<p>1 補助実施事業者 株式会社街づくりまんのぼろ 総事業費 4,165,151円 マンガを活かした石巻の情報発信と街並みづくり (1) 令和2年度(3年目)取組実績 ア マンガを活かした街なかの情報発信事業や街なか回遊イベントの企画、実施 声優などの協力を得て「まちななか文化祭」をオンラインを併用し開催。 コロナ後を見据えた街なかへの集客策としてマンガフラック、サインアートを作成。 イ ブロンズ製のマンガモニュメントの製作、設置 造形師により制作されたマンガキャラクターのブロンズ像、事業者や地元アーティストと連携し制作したモニュメントを設置。</p> <p>(2) 商店街再生加速化支援事業費補助金実績額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金(宮城県)</td> <td>3/6</td> <td>2,658,808円</td> <td>3,594,585円</td> <td>2,082,575円</td> </tr> <tr> <td>補助金(石巻市)</td> <td>2/6</td> <td>1,772,540円</td> <td>2,396,390円</td> <td>1,388,384円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>1/6</td> <td>886,270円</td> <td>1,198,195円</td> <td>694,192円</td> </tr> <tr> <td>総事業費合計</td> <td></td> <td>5,317,618円</td> <td>7,189,170円</td> <td>4,165,151円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補助金制度の概要 ○補助率…県3/6(市2/6、実施者負担1/6) ○補助限度額…3年間で19,000千円(ハード事業10,000千円、ソフト事業3,000千円×3年) ○補助事業者…商店街振興組合、商業等の活性化事業を行う目的で設立された3セク特定会社等</p>									H30	R1	R2	補助金(宮城県)	3/6	2,658,808円	3,594,585円	2,082,575円	補助金(石巻市)	2/6	1,772,540円	2,396,390円	1,388,384円	自己資金	1/6	886,270円	1,198,195円	694,192円	総事業費合計		5,317,618円	7,189,170円	4,165,151円
		H30	R1	R2																													
補助金(宮城県)	3/6	2,658,808円	3,594,585円	2,082,575円																													
補助金(石巻市)	2/6	1,772,540円	2,396,390円	1,388,384円																													
自己資金	1/6	886,270円	1,198,195円	694,192円																													
総事業費合計		5,317,618円	7,189,170円	4,165,151円																													
成 果		<p>ソフト事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、声優らとの交流イベント「まちななか文化祭」を開催したが、台風14号の接近によりプログラムの大幅な変更を余儀なくされたものの、TwitterなどSNSを通じて石巻の認知度向上を図ることができた。また、市複合文化施設(マルホンまきあーとテラス)で開催するアニメージュとジブリ展のフラッグを中心市街地である立町大通りに掲げたことにより、商店街界隈への回遊、賑わいの創出を図ることができた。</p> <p>ハード事業については、事業者や地元アーティストと連携し制作した松川横丁の「猫のモニュメント」や造形師により制作されたブロンズ像の「ロボット刑事よりK&芝刑事」を北上川沿いの石ノ森萬画館へ向かう西中瀬橋のたもとに設置し来館者の写真撮影のスポットとして賑わいが図られた。</p>																															
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症の影響で再生加速化計画(アクションプラン)の変更や台風の接近により商店街回遊イベントの縮小開催であった中でも、可能な限り活発的に街なかの賑わいを創出を図り、交流人口の増加に努めていた。 また、新型コロナウイルス感染症の収束後の集客に向けた仕掛けづくりを行ったりと、様々な工夫が見られ、今後も、川沿いエリアや立町・中央エリアだけでなく、駅前エリアへの賑わい創出が期待できる。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	6,750,000	3,470,959	2,082,575			1,388,384																											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元 気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第7節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()	
	2 目	商工業振興費		(1)	魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る		()	
実施計画掲載ページ		P 58	中 事 業		中心市街地活性化事業費			
事業コード		003-007-001-01422	事 業 名		地方創生RPGアプリにおける地域賑わい創出事業			
目的及び事業内容		石巻市を舞台にした、スマートフォン向けのRPG（ロールプレイングゲーム）アプリを制作・運用することにより、本市の観光施設や地場産品、史跡や歴史などの地域資源とともに、震災から復興を遂げた本市の姿を国内外へと広く発信する。 アプリの内容は、ユーザーがゲームの世界の石巻を旅しながら、本市の民話・産業・史跡・施設・食文化などに触れられる内容とし、また、本市への来訪を誘引するため、市内観光施設等で使用できるクーポンの搭載やGPS通信スポットを設定し、地域経済の活性化を図っていく。						
取組実績		<p>アプリ制作は、市民等へ制作の段階から親しみを持ってもらえるよう、地域と連携した取組等を行った。また、ゲームの本編のほかに観光客誘引のためのオプション機能を搭載した。</p> <p>1 地域との連携</p> <p>(1) 石巻西高等学校生徒との連携事業 石巻西高2学年の総合的な学習の時間と連携した「街クエスト」を実施した。 「地域の魅力を他者へ発信すること」を授業のテーマとし、生徒が調査した地域の魅力について、アプリのオプション機能である石巻ご当地クイズ等へ掲載した。</p> <p>(2) アプリに登場するモンスター及び魔法呪文の公募 令和2年11月9日から令和3年1月7日までアプリ内で登場するモンスター及び魔法呪文について公募を実施した結果、全国各地からの応募があった。 ※応募総数：モンスターデザイン348点（うち採用数31点）・魔法呪文129点（うち採用数6点）</p> <p>(3) モンスター及び魔法呪文の公募に係る2次審査への一般参加 モンスター公募に係る2次審査について、審査員を外関係機関のほかに一般の方が気に入った作品へ投票できる仕組みとして、Web投票の実施及び市内2か所に投票所を設置した。 ※投票所設置場所：市役所1階・かわまち交流センター</p> <p>2 観光客誘引のための取組み</p> <p>(1) GPS通信機能・クーポン機能 市内の18か所にGPS通信スポットを設けており、各スポットを訪れてGPS通信を行うとゲーム内で武器やアイテムを入手できる。また、指定された観光関連施設等に使用できるクーポンを搭載しており、各店舗でクーポンを提示するとゲームのオリジナルグッズやサービスの提供が受けられる仕組みを搭載した。</p>						
成 果		令和3年3月31日にアプリの配信を開始した。 アプリの制作を通して、市民等と一体となって取組みを実施したことから、SNSやメディアでも話題となったことから、本市の認知度及び話題性の向上につながった。 また、東日本大震災から復興を遂げた本市の姿を国内外へと広く発信することができた。						
成果に係る評価		今年度はアプリの制作を通して、市民等と一体となって取組みを実施できたことから、次年度以降、アプリを活用した効果的なプロモーションを実施し、地域の賑わいの創出へつなげていく。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、アプリ完成記念イベントやクーポン掲載店舗の公募を見合わせているため、感染拡大の状況を鑑みながら、次年度以降の取組みとして検討していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	9,959,000		9,933,000		2,959,000		6,400,000	574,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																	
	1 項	商工費		第 節			()																	
	2 目	商工業振興費		()			()																	
実施計画掲載ページ			中 事 業		物産振興事業費																			
事業コード			事 業 名		物産PR・イベント事業																			
目的及び事業内容		県外各地で開催されるイベント等の場において、石巻市の物産やイベント等のPRを実施し購買促進を図る。 地場産品の紹介や現地での販売により、販路拡大を促進し、地場産業の振興を図る。																						
取組実績		<p>石巻市の特産品のPR及び販売促進を図った。</p> <p>1 観光物産PR等実施先</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三陸地域の物産と観光展inあつかりの郷</td> <td>福島県国見町</td> <td>9/19~9/22</td> <td>28,266</td> </tr> <tr> <td>海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産品等販売)</td> <td>秋田県湯沢市</td> <td>10/24~10/25</td> <td>5,800</td> </tr> <tr> <td>三陸復興国立公園観光PRブース出展</td> <td>イオンスタイル 仙台泉大沢店</td> <td>11/14~11/15</td> <td>553</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ひたちなか市産業交流フェア、米沢市上杉雪灯籠まつり等、例年開催されるイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。</p>							名称	場所	開催日	入込数(人)	三陸地域の物産と観光展inあつかりの郷	福島県国見町	9/19~9/22	28,266	海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産品等販売)	秋田県湯沢市	10/24~10/25	5,800	三陸復興国立公園観光PRブース出展	イオンスタイル 仙台泉大沢店	11/14~11/15	553
名称	場所	開催日	入込数(人)																					
三陸地域の物産と観光展inあつかりの郷	福島県国見町	9/19~9/22	28,266																					
海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産品等販売)	秋田県湯沢市	10/24~10/25	5,800																					
三陸復興国立公園観光PRブース出展	イオンスタイル 仙台泉大沢店	11/14~11/15	553																					
成 果		石巻観光協会や宮城県と連携しながら東北県内で開催された物産展などへ参加し、市産品の紹介宣伝及び物産PRを実施した。 その結果、効果的な物産PRを行うことができたことから、販路の拡大につながり、地域経済の活性化と地場産業の振興が図られた。																						
成果に係る評価		本事業により、地場産品及び伝統工芸品の販路拡大、産地間の交流に寄与している。他地域における石巻市の知名度の向上及び地場産品のブランド化を推進することは産業振興にもつながることから、今後も積極的に物産PRを実施し、地域産業の活性化を推進していく。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、物産PRにおける環境は依然厳しい状況にあるが、令和2年度に開館した雄勝硯伝統産業会館やホエールタウンおしかなど復興を遂げた施設等を活用しながら、さらなる活性化に繋げたい。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,681,000		2,226,715					2,226,715																

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第6章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																
	1 項	商工費		第1節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																
	2 目	商工業振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																
実施計画掲載ページ		P134	中 事 業	物産振興事業費																			
事業コード	006-001-001-00155	事 業 名	伝統技術継承支援事業（伝統工芸品支援事業）																				
目的及び事業内容		・ 年次計画を柱に実施される事業活動への支援を行い、地場産業の振興を図る。 ・ 後継者に対する技術指導をはじめ、伝統工芸品の販路開拓や、販路の拡大、各種展示会や物産展に参加し、伝統工芸品のPR事業を実施する。																					
取組実績		雄勝硯、雄勝石工芸品のPR、販路拡大など振興事業を実施した。 1 共同事業 ・ 製品の共同販売・原材料の共同購買 2 共同検査事業 ・ 消費者へよりよい製品を提供するため、共同販売用製品の検査を実施 2回 ・ 後継者への指導、商品の検品 3 共同広告事業 統一した広告宣伝の実施 ・ 雄勝硯パンフレット作成 2,000部 4 伝統的工芸品産業振興事業 各種展示会・物産展への参加 ・ 県外物産展における実演・販売、硯や雄勝石工芸品の展示販売 3回 ・ 雄勝石を利用したワークショップ開催 8回 5 教育情報提供事業 ・ 組合員の技術向上を目的とした技術研修会 2回 その他 交付先：雄勝硯生産販売協同組合																					
成 果		需要開拓事業 東京都 1回（石巻地域産品販路開拓支援事業） 県内 2回（秋保 手・ん・店、東北伝統工芸逸品展） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、展示会の中止又は出展の取りやめがあったもの。 ワークショップ 8回（県内小中学校を対象とした「My硯」のワークショップを実施）																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31(R1)</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動（PR）回数</td> <td>15回</td> <td>11回</td> <td>13回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>活動（PR）日数</td> <td>115日</td> <td>77日</td> <td>68日</td> <td>75日</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H29	H30	H31(R1)	R 2	活動（PR）回数	15回	11回	13回	11回	活動（PR）日数	115日	77日	68日	75日
区 分	H29	H30	H31(R1)	R 2																			
活動（PR）回数	15回	11回	13回	11回																			
活動（PR）日数	115日	77日	68日	75日																			
成果に係る評価		雄勝石産業の振興を図るため組合の事業基盤の強化に努めるとともに、事業承継を円滑に行うために後継者育成を実施し県内外において雄勝硯・石等の工芸品の需要拡大を目的とした展示、販売を行った。また、本年度については、新型コロナウイルスの影響を受け展示会が減少したものの、ワークショップによるPR活動を可能な限り実施し、手作りの技と伝統文化に接する機会を提供することが出来た。この事業により雄勝地区の復興状況と、硯産地としての復旧状況も宮城県・内外へ大きなPR活動となった。令和元年度末には、「雄勝硯伝統産業会館」が完成し、2年度から運用開始、令和3年3月に道の駅「硯上の里おがつ」として登録され、今後更なる産業振興を期待しているところである。なお、当該施設の指定管理を受託する団体に、雄勝硯生産販売協同組合が参画しており、さらなるPR活動を期待できるものと考えている。																					
予算の執行状況		（単位：円）																					
		予算額		決算額		決算額の財源内訳																	
						国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
		1,500,000		1,500,000				1,500,000															

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()		
	1 項	商工費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()		
	2 目	商工業振興費		(2)	安定的な農業経営対策を推進する		()		
実施計画掲載ページ		P53	中 事 業	地域の宝研究開発事業費					
事業コード	003-004-002-01066	事 業 名	地域の宝研究開発事業						
目的及び事業内容		本市の特産品となりうる新しい農産物の実証実験や埋もれている農産資源を発掘するための研究開発等を行う。 1 東北地方であまり栽培されていないオリーブの栽培実験を行い、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指す。 2 オリーブ加工施設の活用を図る。 3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施する。							
取組実績		1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験 (1) 北上地区に1経営体の目標である1,500本が定植され引き続き実証栽培を継続。 (2) 先進地より指導者に来ていただき栽培技術とほ場の管理並びにオリーブの搾油と搾油の技術を確立するための指導を実施。 (3) 宮城県農業改良普及センターと協力して、栽培層の作成や土壌調査、現地での病害虫の予防・駆除方法について取り組んだ。 (4) ブラッシュアップ事業による消費者モニタリングを実施。 2 オリーブ加工施設の活用を図る。 (1) 国の交付金により整備したオリーブ加工施設と搾油機械等を活用しオリーブオイルの搾油を実施。 3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施 (1) FOODEX JAPAN2021へパブリカを出展。							
成 果		1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験 (1) 実施した栽培技術と管理作業の指導により、栽培技術や季節ごとの病害虫防除作業の習得ができた。 (2) 県農業改良普及センターと協力して、ほ場の土壌の状況や生息する害虫や病気の確認ができ、それらへの対応が図られた。 (3) 消費者モニタリングの結果、見た目、味・食感、使い勝手の項目で殆どの方に良いという評価を得た。また、モニターの30%の方が買いたいという結果だった。 2 オリーブ加工施設の活用を図る (1) 栽培しているオリーブから519.3kg(対前年比492.5%)の果実が収穫された。その中から選果し「石巻産オリーブオイル」約40.4Lが搾油できた。 3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施 (1) 商品サンプルとパンフレット等の出品により商談について数件の問い合わせがあった。							
成果に係る評価		1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験 (1) 4地区で、約519.3kgの収穫があり定植から年数を重ね収穫量も増えているので、事業を継続する必要がある。 2 オリーブ加工施設の活用を図る (1) 加工施設が整備され、その日のうちに搾油する事により高品質なオリーブオイルを製造する事ができた。 3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施 (1) 販路開拓は生産の維持発展に大変重要なことから今後も事業を継続する必要がある。							
予算の執行状況		（単位：円）							
		予算額		決算額		決算額の財源内訳			
						国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		27,442,000		24,415,047			21,900,000		2,515,047

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()									
	1 項	商工費		第 節			()									
	3 目	観光費		()			()									
実施計画掲載ページ			中 事 業	観光振興事業費												
事業コード			事 業 名	観光PR事業												
目的及び事業内容		新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を積極的に情報提供することで、誘客を促進し、観光客の入込数の増加と地域経済の活性化を図る。														
取組実績		<p>1 観光並びに物産振興を推進している（一社）石巻観光協会に対し、事業費及び運営費の一部を補助し、パンフレットの作成や地域間交流事業など、観光宣伝事業を展開した。</p> <p>2 仙台・宮城観光キャンペーン、三陸復興国立公園協会において、県内・県外の関係機関と連携を図り、パンフレットやポスターの作成など、誘客PRを行った。</p> <p>3 台湾で行われた大台南国際旅行博にて、宮城県国際観光テーマ地区推進協議会と連携し、ポスター掲示及びノベルティ配布を依頼し本市のPRを行った。</p> <p>4 石巻～仙台間運行の高速バスへ、マンガ素材のラッピングを行い観光PRを継続実施した。</p> <p>5 食彩・感動いしのまき観光推進協議会で、食イベント「いしのまき・おもてなし じもとメシ!」を実施した。（地産地消推進店80店舗参加）</p> <p>6 多言語観光案内板を北上地区及び雄勝地区に整備し、観光の周遊・滞在及びインバウンド対応を行った。</p> <p>7 いしのまき観光大使を活用し、観光PR及びイメージアップを図った。 ①遠藤正明（アニソン歌手）②サンドウィッチマン（コメディアン）③重たみゆき（印象行動学者） ④林家たい平（落語家）⑤本間秋彦（テレビ、ラジオDJ）⑥松川茄穂（ミスユニバース宮城県代表） ⑦萌江（シンガーソングライター）⑧横山雄二（中国放送アナウンサー）</p> <p>8 国際交流員を配置し、翻訳・通訳などインバウンド誘客の推進を図った。</p> <p>9 半島沿岸部をルートとしたみちのく潮風トレイル利用促進のため、自然歩道を管理し、観光振興及び交流人口の増加を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020大台南国際旅行博</td> <td>台南市</td> <td>11月</td> <td>73,656</td> </tr> </tbody> </table>							名称	場所	開催日	入込数（人）	2020大台南国際旅行博	台南市	11月	73,656
名称	場所	開催日	入込数（人）													
2020大台南国際旅行博	台南市	11月	73,656													
成 果		<ul style="list-style-type: none"> 本市のさらなる認知度向上のため、石巻観光協会や石巻圏観光推進機構等の関係団体と連携して観光PRを行った。 各種イベントへの参加及び地域間交流事業を活用し、観光PRに合わせて地場産品の紹介宣伝を行うとともに、市内で開催するイベント紹介など観光宣伝事業を展開し、観光・物産の振興を図った。 国内のイベント以外に台湾での観光PRや、多言語観光パンフレットの発行、多言語観光案内板の整備を行った。 														
成果に係る評価		<p>本事業により、観光PRを通じて他地域における石巻市の知名度を向上させることは本市の産業振興にもつながるため、今後も積極的に実施し、地域産業の活性化を推進することとしたい。</p> <p>インバウンドについては、新型コロナウイルス感染症の影響により回復までは長時間を要することが予想され、SNS等を活用し収束後を見据えた効果的な情報発信に努めることとするが、まずは収束後の国内需要の取り込みに注力し、新規にオープンした施設の活用など地域の独自色を出しながら、他地域との差別化を推進する。</p> <p>また、関係団体、事業者と連携し、利用者のニーズ、新しい生活様式に対応した安心・安全な観光PRが必要であり、SNSやガイドブック、観光大使の活用など、状況に合わせた効果的な情報発信に取り組む。</p>														
（単位：円）																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	44,001,292	43,312,380	8,637,750		2,550,000	32,124,630										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																									
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																																									
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る		()																																									
実施計画掲載ページ		P 59	中 事 業	観光振興事業費																																												
事業コード		003-007-001-00159	事 業 名	まつりイベント事業																																												
目的及び事業内容		各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図る。あわせて、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。																																														
取組実績		<p>各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付し、事業の実施に当たっては実行委員会等への支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>イベント名称</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>石巻川開き祭り</td> <td>7/31</td> <td>43人</td> <td>2,000,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿鯨まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サマーフェスティンかほく</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民祭り</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ものうふれあい祭り</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>かほく産業まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>かなん市民まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>43人</td> <td>2,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>							イベント名称	開催日	入込数（人）	補助金	サン・ファン祭り	中止	-	-	石巻川開き祭り	7/31	43人	2,000,000円	牡鹿鯨まつり	中止	-	-	サマーフェスティンかほく	中止	-	-	サン・ファン渡波市民祭り	中止	-	-	ものうふれあい祭り	中止	-	-	かほく産業まつり	中止	-	-	かなん市民まつり	中止	-	-	計		43人	2,000,000円
イベント名称	開催日	入込数（人）	補助金																																													
サン・ファン祭り	中止	-	-																																													
石巻川開き祭り	7/31	43人	2,000,000円																																													
牡鹿鯨まつり	中止	-	-																																													
サマーフェスティンかほく	中止	-	-																																													
サン・ファン渡波市民祭り	中止	-	-																																													
ものうふれあい祭り	中止	-	-																																													
かほく産業まつり	中止	-	-																																													
かなん市民まつり	中止	-	-																																													
計		43人	2,000,000円																																													
成 果		新型コロナウイルス感染症の影響により、各種まつりの中止が相次いだ。川開き祭りに関しては、規模を縮小し供養祭のみの開催となった。																																														
成果に係る評価		<p>令和2年度は雄勝・牡鹿地区に新施設が開館し、多くの観光客入込数を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベント・祭りが中止になった他、全国的な外出自粛の影響を大きく受けた。</p> <p>令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながらイベント・祭りの開催を検討していききたい。また、新たな観光資源を活用した観光交流人口の更なる増加を図る。</p>																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	2,000,000	2,000,000				2,000,000																																										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	1 項	商工費		第 節			()																			
	3 目	観光費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費																						
事業コード			事 業 名	サン・ファン・パウティスタパーク管理事業																						
目的及び事業内容		サン・ファン・パウティスタパークの適正な維持管理を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として地域活性化及び地域振興の推進に寄与する。																								
取組実績		<p>1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会</p> <p>2 指定管理料 40,000,000円</p> <p>3 指定管理期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>4 事業内容 (1)各種設備機器保安・保守業務 (2)パーク内行為許可業務 (3)観光情報の提供</p> <p>5 利用者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーク来園者数</td> <td>99,906</td> <td>86,094</td> <td>86,644</td> <td>85,553</td> <td>73,696</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン館入館者数</td> <td>26,418</td> <td>31,886</td> <td>32,544</td> <td>31,188</td> <td>27,291</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 施設改修整備事業 令和元年度～2年度にかけて実施 令和元年度予算額 146,642,000円 決算額 85,206,000円 繰越額 61,436,000円 令和2年度予算額 41,170,000円 決算額 41,169,700円</p>							年度	H28	H29	H30	R1	R2	パーク来園者数	99,906	86,094	86,644	85,553	73,696	サン・ファン館入館者数	26,418	31,886	32,544	31,188	27,291
年度	H28	H29	H30	R1	R2																					
パーク来園者数	99,906	86,094	86,644	85,553	73,696																					
サン・ファン館入館者数	26,418	31,886	32,544	31,188	27,291																					
成 果		<p>隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、安定した管理運営が図られた。また、民間主催の各種イベント会場としての貸出については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年実施していたイベントの大半が中止となった。</p> <p>○サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>中止</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民夏まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング</td> <td>中止</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>エコキャップアート展示「進め！ひかり輝く地域に向かって」</td> <td>9/13</td> <td>24（主催団体）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○サン・ファンパウティスタパーク施設改修工事 令和元年度より2か年計画で実施している当該施設の改修工事について、令和元年度は建築工事としてパーク内の立体駐車場の修繕やパーク内破損タイルの交換、電気工事として外灯の修繕や新設を行った。 令和2年度は、水景施設の改修や広場への遊具設置及び監視カメラ修繕等を行い、パークの利用促進及び利用者の安全確保に努めた。</p>							事業名	開催日	来場者数	サン・ファン祭り	中止	-	サン・ファン渡波市民夏まつり	中止	-	「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	中止	-	エコキャップアート展示「進め！ひかり輝く地域に向かって」	9/13	24（主催団体）			
事業名	開催日	来場者数																								
サン・ファン祭り	中止	-																								
サン・ファン渡波市民夏まつり	中止	-																								
「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	中止	-																								
エコキャップアート展示「進め！ひかり輝く地域に向かって」	9/13	24（主催団体）																								
成果に係る評価		<p>復元船サン・ファン・パウティスタ号の乗船中止及び新型コロナウイルスの影響により、年間を通しての利用者数が、前年と比較して約10,000人減少している。利用促進を図る取り組みとして、サン・ファン広場を中心に、安全な憩いの場の提供や遊具の設置等、地域の活性化や賑わいの創出などに努めた。 また、サン・ファン・パウティスタパーク施設改修工事もすべて完了し、震災後休止していた水景施設も再開することから、上記を活かしてさらなる来客の増加及び利用促進を図っていく。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	81,170,000	81,169,700		39,100,000		42,069,700																				

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																									
	1 項	商工費		第 節			()																									
	3 目	観光費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	石ノ森萬画館運営費																												
事業コード			事 業 名	石ノ森萬画館運営事業																												
目的及び事業内容		街づくりまんぼうへの指定管理により、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内外の人々との交流促進を図り、市における文化の発展と地域経済の振興に寄与する。																														
取組実績		<p>1 指定管理者 株式会社街づくりまんぼう</p> <p>2 指定管理料 74,280,000円（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額補填19,280,000円含む）</p> <p>3 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>4 事業内容 (1)常設展示 ・石ノ森バイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界 など (2)特別企画展</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展名</th> <th>開催期間</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はじめの一步 大原画展～魂のパウト～</td> <td>6/1～8/30</td> <td>12,246人</td> </tr> <tr> <td>CAT ART展～シュー・ヤマモトの世界～</td> <td>9/12～11/29</td> <td>15,863人</td> </tr> <tr> <td>釣りキチ三平展</td> <td>12/12～R3/1/31</td> <td>3,702人</td> </tr> <tr> <td>つづく展3 右巻に根つこの生えた写真家たちの写真展</td> <td>R3/2/13～3/11</td> <td>2,001人</td> </tr> <tr> <td>少年アシベ展～森下裕美の世界～</td> <td>R3/3/20～(5/30)</td> <td>922人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)映像ホール（有料） ・「龍神沼」、「消えた赤ずきんちゃん」、「シージェッター海斗特別編」を上映 (4)ライブラリー、マルチメディア工房（無料展示） ・マンガ本約6,000冊、映像約300作品、各種ワークショップ体験ができるスペース (5)資料収集・保存活動（過去に出版された石ノ森関連書籍や各マンガ家からの寄贈紙など） (6)マンガタンイラストギャラリー（年4回テーマを設けてイラスト作品を募集し、萬画館に展示） ・応募数：R2=199点、R1=254点、H30=290点、H29=208点、H28=259点</p>							企画展名	開催期間	延べ人数	はじめの一步 大原画展～魂のパウト～	6/1～8/30	12,246人	CAT ART展～シュー・ヤマモトの世界～	9/12～11/29	15,863人	釣りキチ三平展	12/12～R3/1/31	3,702人	つづく展3 右巻に根つこの生えた写真家たちの写真展	R3/2/13～3/11	2,001人	少年アシベ展～森下裕美の世界～	R3/3/20～(5/30)	922人						
企画展名	開催期間	延べ人数																														
はじめの一步 大原画展～魂のパウト～	6/1～8/30	12,246人																														
CAT ART展～シュー・ヤマモトの世界～	9/12～11/29	15,863人																														
釣りキチ三平展	12/12～R3/1/31	3,702人																														
つづく展3 右巻に根つこの生えた写真家たちの写真展	R3/2/13～3/11	2,001人																														
少年アシベ展～森下裕美の世界～	R3/3/20～(5/30)	922人																														
成 果		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入館者が大幅に減少したが、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信することに努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>うち有料入場者数</th> <th>入館料等収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>170,003人</td> <td>82,520人</td> <td>64,819,962円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>175,351人</td> <td>83,790人</td> <td>65,402,569円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>190,020人</td> <td>91,178人</td> <td>69,946,912円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>214,838人</td> <td>102,314人</td> <td>78,222,053円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>64,871人</td> <td>37,304人</td> <td>29,173,857円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	H28	170,003人	82,520人	64,819,962円	H29	175,351人	83,790人	65,402,569円	H30	190,020人	91,178人	69,946,912円	R1	214,838人	102,314人	78,222,053円	R2	64,871人	37,304人	29,173,857円
年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																													
H28	170,003人	82,520人	64,819,962円																													
H29	175,351人	83,790人	65,402,569円																													
H30	190,020人	91,178人	69,946,912円																													
R1	214,838人	102,314人	78,222,053円																													
R2	64,871人	37,304人	29,173,857円																													
成果に係る評価		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前年度より大幅に入館者数・入館料収入が減少となった。年度内に5つの企画展を開催し、集客回復に努めたものの大々的なイベント開催や周知活動を行うことができなかったため、集客が限定的なものに留まった。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、コロナ禍における新しい生活様式に対応したイベント実施を考え、集客を回復できるよう指定管理者へ働きかけていく。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	76,520,000	76,472,140		19,280,000		57,192,140																										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																																					
	1 項	商工費		第 節			()																																																																																					
	3 目	観光費		()			()																																																																																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	マンガアイランド管理運営費																																																																																								
事業コード			事 業 名	マンガアイランド管理運営事業																																																																																								
目的及び事業内容		田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。																																																																																										
取組実績		<p>1 マンガアイランド利用実績 内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">マンガロッジ</th> <th colspan="2">テントサイト</th> <th colspan="2">合計</th> <th colspan="2" rowspan="2">使用料(円)</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>495</td> <td>560</td> <td>168</td> <td>77</td> <td>92</td> <td>40</td> <td>572</td> <td>652</td> <td>208</td> <td>1,672,650</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>393</td> <td>468</td> <td>149</td> <td>70</td> <td>83</td> <td>30</td> <td>463</td> <td>551</td> <td>179</td> <td>1,466,700</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>296</td> <td>350</td> <td>110</td> <td>55</td> <td>69</td> <td>33</td> <td>351</td> <td>419</td> <td>143</td> <td>1,134,050</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>658</td> <td>763</td> <td>237</td> <td>177</td> <td>180</td> <td>84</td> <td>835</td> <td>943</td> <td>321</td> <td>2,534,230</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>444</td> <td>514</td> <td>137</td> <td>65</td> <td>69</td> <td>35</td> <td>509</td> <td>583</td> <td>172</td> <td>1,591,630</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 備品等貸出件数 内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マウンテンバイク(大人用)</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>マウンテンバイク(小人用)</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>電動自転車</td> <td>395</td> </tr> <tr> <td>釣竿</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>天体望遠鏡</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>609</td> </tr> </tbody> </table>							年度	マンガロッジ		テントサイト		合計		使用料(円)		実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	H28	495	560	168	77	92	40	572	652	208	1,672,650	H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700	H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,134,050	R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,534,230	R2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,591,630	種類	利用件数	マウンテンバイク(大人用)	128	マウンテンバイク(小人用)	23	電動自転車	395	釣竿	50	天体望遠鏡	13	合 計	609
年度	マンガロッジ		テントサイト		合計		使用料(円)																																																																																					
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数																																																																																						
H28	495	560	168	77	92	40	572	652	208	1,672,650																																																																																		
H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700																																																																																		
H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,134,050																																																																																		
R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,534,230																																																																																		
R2	444	514	137	65	69	35	509	583	172	1,591,630																																																																																		
種類	利用件数																																																																																											
マウンテンバイク(大人用)	128																																																																																											
マウンテンバイク(小人用)	23																																																																																											
電動自転車	395																																																																																											
釣竿	50																																																																																											
天体望遠鏡	13																																																																																											
合 計	609																																																																																											
成 果		新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開館が6月1日からとなったことに加え、宿泊者を東北地方在住者に限定したことなどにより、前年度よりも使用料収入が減少することとなった。しかしながら、日帰り客の施設利用が増加し、備品等貸出件数は前年度よりも約1.25倍増加となった。インターネット予約を導入し利用者の利便性を図ったことに加え、施設の広報宣伝を行ったことにより、開館日数は例年よりも少なかったものの、全期間開館していた平成29年度よりも使用料収入が増加する結果となった。																																																																																										
成果に係る評価		宮城県外からの予約問い合わせや日本在住の外国人の利用も見受けられ、マンガアイランド及び田代島に対する関心の高さが伺える。そのため、今後も継続的な情報発信や、三石崎などといった島の資源を活用し、さらなる施設利用促進を図っていく。																																																																																										
(単位:円)																																																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																						
	15,344,000	15,152,578			1,610,332	13,542,246																																																																																						

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()	
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る		()	
実施計画掲載ページ			P 60	中 事 業	石巻圏DMO推進事業費			
事業コード		003-007-001-01184	事 業 名	いしのまき版DMO運営推進事業〔地方創生〕				
目的及び事業内容		石巻圏における観光の広域連携と、圏域の経済効果・産業の活性化及び地域の価値向上を目的とし、効果的な情報発信や周遊モデルルートを作成・商品化、圏域の観光動向調査や分析を行う(一社)石巻圏観光推進機構の運営支援を目的とする。						
取組実績		<p>石巻圏DMO推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光データ収集・分析事業(石巻圏観光動態調査、石巻圏への観光施策提案) インバウンド事業(プロモーション、情報発信、観光コンテンツ開発) 観光コンテンツ開発(地域性の高い体験型観光コンテンツ開発、オンライン観光商品開発) 人材育成事業(二市一町マーケティング講習会、外国人観光客案内ガイド研修) 教育旅行事業(企画対応32件(うち実施2件)、SDGsを組み入れたアクティブラーニング改訂) サイクルツーリズム事業(ライドハンターズ、牡鹿半島チャレンジライド、松島基地ランウェイライド) 二市一町観光プロモーション事業(公式ホームページ 335,798PV、道の駅上品の郷大型モニター動画提供) レンタサイクル事業(貸出実績513台、市内10か所貸出場所を設置) 石巻エリアファンクラブ開設事業 						
成 果		<p>新型コロナウイルス感染症の蔓延により、東京オリンピック・パラリンピック2020に合わせて策定したこのような活動が認められ、令和3年3月には観光庁による「登録観光地づくり法人」の認定を受け、今後の自主財源による運営への移行に大きな弾みとなった。</p> <p>事業計画の変更を余儀なくされたものの、石巻圏経済活性化やアフターコロナを見据えた事業計画に変更したことにより、オンラインを活用した商品開発、ツアーの実施を実施した。また、みやぎ観光振興会議石巻圏会議においては中核的な役割を担い、デジタルシフト構想の策定にも尽力した。</p> <p>当市の事業としては、コロナ禍の中でも観光振興の拡大に寄与すべく、種々の情報提供と共有、各事業への支援協力を行った。</p>						
成果に係る評価		石巻圏観光推進機構も設立4年目となり、主催事業の幅も広がりを見せており、「登録観光地づくり法人」の認定は、今後の大きな追い風になることが予想されるものの、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、早期に事業計画の変更を行ったことで次年度以降の事業展開へのつながりを見せる結果になっていると思われ、評価は出来るものと考えられる。今後は自主財源による運営への転換を早期に行えるよう、当市としては圏域市町と連携して支援を継続するとともに、経営状況を注視していく。						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	33,326,000	33,326,000	16,663,000					16,663,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	()																															
	1 項	商工費		第 節		()																															
	3 目	観光費		()		()																															
実施計画掲載ページ			中 事 業	家族旅行村管理運営費																																	
事業コード			事 業 名	家族旅行村管理事業																																	
目的及び事業内容		おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。																																			
取組実績		<p>1 おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） サンタリー棟 1棟（炊事室、洗面所、便所及びシャワー室） 個別サイト 31か所（電源付サイト：5カ所、サイトA：23カ所、サイトB：3カ所） ケビン棟 6棟（A棟：4棟、B棟：2棟） <p>2 管理業務</p> <p>(1) 指定管理者 太平ビルサービス株式会社</p> <p>(2) 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>(3) 指定管理料 8,858,000円（新型コロナウイルス感染症対策に係る休館等に伴う影響額補填2,858,000円含む）</p> <p>(4) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア施設管理運営 イ施設維持管理 ウ自主事業（売店、レンタル等） <p>(5) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数（ケビン棟）</td> <td>240</td> <td>317</td> <td>434</td> <td>392</td> <td>393</td> </tr> <tr> <td>利用件数（個別サイト）</td> <td>299</td> <td>421</td> <td>891</td> <td>1,228</td> <td>2,103</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>2,469</td> <td>3,329</td> <td>4,641</td> <td>6,146</td> <td>7,628</td> </tr> <tr> <td>利用金額（円）</td> <td>6,676,800</td> <td>9,800,100</td> <td>12,436,200</td> <td>15,598,550</td> <td>16,874,623</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本オートキャンプ協会費 50,000円 <p>3 修繕費（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス暖房機交換修繕外 12件 計5,059,606円 							H28	H29	H30	R1	R2	利用件数（ケビン棟）	240	317	434	392	393	利用件数（個別サイト）	299	421	891	1,228	2,103	利用者数（人）	2,469	3,329	4,641	6,146	7,628	利用金額（円）	6,676,800	9,800,100	12,436,200	15,598,550	16,874,623
	H28	H29	H30	R1	R2																																
利用件数（ケビン棟）	240	317	434	392	393																																
利用件数（個別サイト）	299	421	891	1,228	2,103																																
利用者数（人）	2,469	3,329	4,641	6,146	7,628																																
利用金額（円）	6,676,800	9,800,100	12,436,200	15,598,550	16,874,623																																
成 果		自然の中で健全な観光レクリエーションの場を確保することで観光産業の振興を図るとともに、施設の修繕等を実施し維持管理に努めている。運営管理については、新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、令和2年4月24日から5月31日まで休館した。再開後は、新型コロナ感染予防対策を徹底し、インターネットによる利用予約に加え、情報誌、ラジオ、テレビCMを活用した周知により、施設の稼働率は高く推移しており、利用状況は良好であった。また、冬季期間（12月～3月）には個別サイトの開放を実施しており、年間利用者数は前年比約24%増の7,628人と大幅に伸ばしている。利用者数の増加に伴い、施設利用料収入も増加している。																																			
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染拡大予防のため、休館中の予約はすべてキャンセルとしたが、通年において利用者が増加しており、繁忙期以外での利用者数の増加も顕著で、順調な成果を示している。引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、ホエールタウンおしか、金華山、みちのく潮風トレイル等、他の観光コンテンツと相乗効果が出るようなPRを行い、牡鹿半島の魅力を積極的に発信しながら、周辺施設や地元宿泊施設等と連携した事業運営を行い、観光振興につなげるよう、さらなる利用者の増加を目指したい。																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
	15,893,406	15,893,396	2,858,000			13,035,396																															

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	復興計画	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	()																														
	1 項	商工費		第 7 節		年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する	()																														
	3 目	観光費		(1)		魅力ある観光地づくりと効果的なPRの推進を図る	()																														
実施計画掲載ページ		P 59	中 事 業	海水浴場管理運営費																																	
事業コード		003-007-001-00158	事 業 名	海水浴場開設事業																																	
目的及び事業内容		夏の観光の目玉として、三陸の綺麗な海を海水浴場として開設する。また、施設の安全対策の充実と利便性の向上に努め、海難事故防止を図るとともに、観光客や市民が安心して海に親しむためのレクリエーションの場として誘客を促進し、地域の活性化を図る。																																			
取組実績		<p>1 市営海水浴場の開設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>海水浴場名</th> <th>地区</th> <th>開設期間</th> <th>日数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波海水浴場</td> <td>市内</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>白浜海水浴場</td> <td>北上</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網地白浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>荒浜海水浴場</td> <td>雄勝</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>十八成浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度は、例年開設していた渡波・白浜・網地白浜海水浴場に加え、災害復旧を果たした荒浜海水浴場及び十八成浜海水浴場の計5か所で海水浴場が開設される予定となっていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は開設を中止とした。</p>						海水浴場名	地区	開設期間	日数	備考	渡波海水浴場	市内	中止	—		白浜海水浴場	北上	中止	—		網地白浜海水浴場	牡鹿	中止	—		荒浜海水浴場	雄勝	中止	—		十八成浜海水浴場	牡鹿	中止	—	
海水浴場名	地区	開設期間	日数	備考																																	
渡波海水浴場	市内	中止	—																																		
白浜海水浴場	北上	中止	—																																		
網地白浜海水浴場	牡鹿	中止	—																																		
荒浜海水浴場	雄勝	中止	—																																		
十八成浜海水浴場	牡鹿	中止	—																																		
成 果		<p>1 海水浴場入込数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>海水浴場名</th> <th>地区</th> <th>日数</th> <th>R2入込数（人）</th> <th>R1入込数（人）</th> <th>比較（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波海水浴場</td> <td>市内</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>8,659</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>白浜海水浴場</td> <td>北上</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>7,053</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>網地白浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>19,770</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>35,482</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 今後開設する海水浴場 荒浜海水浴場、十八成浜海水浴場（新型コロナウイルスの影響により、令和3年度の開設が中止となるため、次年度に開設が延期となった。）</p>						海水浴場名	地区	日数	R2入込数（人）	R1入込数（人）	比較（%）	渡波海水浴場	市内	—	0	8,659	0.0	白浜海水浴場	北上	—	0	7,053	0.0	網地白浜海水浴場	牡鹿	—	0	19,770	0.0	計			0	35,482	0.0
海水浴場名	地区	日数	R2入込数（人）	R1入込数（人）	比較（%）																																
渡波海水浴場	市内	—	0	8,659	0.0																																
白浜海水浴場	北上	—	0	7,053	0.0																																
網地白浜海水浴場	牡鹿	—	0	19,770	0.0																																
計			0	35,482	0.0																																
成果に係る評価		来年度以降の開設についても新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら開設に向けて準備をするとともに、今後も事故等が無く、安心して観光客や市民が利用でき、なおかつ感染症予防対策が徹底できるような管理体制について検討が必要と考える。																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
	3,035,324	2,894,739				2,894,739																															

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	1 項	商工費		第 節			()																			
	3 目	観光費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	北上観光物産交流センター管理運営費																						
事業コード			事 業 名	北上観光物産交流センター管理運営事業																						
目的及び事業内容			環境省が北上地区に整備するフィールドミュージアムの敷地内に石巻市北上観光物産交流センターを建設し、平成30年2月11日に開館している。石巻市北上観光物産交流センター条例に基づき、地域の観光情報の提供と地場産品等の展示及び販売を実施し、地域の再生と観光振興を図る。																							
取 組 実 績			<p>1 石巻市北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始</p> <p>2 指定管理者：一般社団法人 石巻観光協会</p> <p>3 指定管理料：5,800,000円（令和2年度）</p> <p>4 指定管理期間：平成30年2月1日～令和3年3月31日</p> <p>5 事業内容：(1)北上の観光案内・情報の発信 (2)北上の生産物及び加工品の展示販売 (3)北上の風景写真の展示等</p> <p>6 利用実績：入館者数 11,760人</p> <p>※イベント開催 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、北上の生産物及び加工品の展示販売イベント、開館記念等、一切のイベント開催を中止した。</p>																							
成 果			<p>令和2年度は、地元の北上地域物産振興協会と連携しイベント等の開催回数を増やすことで、北上のPR及び来館者の増加を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的として、イベントの開催を中止し、また、施設の臨時休館を行った結果、開館日数及び入館者数は、前年度と比較し減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防の取り組みとして、換気の徹底やアルコール手指自動消毒器及び非接触型体温計（体温表示機能付きサーモカメラ）を導入することで、来館者及び職員の安全対策を図り、施設内での地場産品の展示販売や観光案内、情報の発信を行うことができた。</p> <p>※利用者数（年度別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数（日）</td> <td>42</td> <td>310</td> <td>282</td> <td>268</td> <td>902</td> </tr> <tr> <td>入館者数（人）</td> <td>6,565</td> <td>22,678</td> <td>17,934</td> <td>11,760</td> <td>58,937</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H29	H30	R1	R2	計	開館日数（日）	42	310	282	268	902	入館者数（人）	6,565	22,678	17,934	11,760	58,937
年度	H29	H30	R1	R2	計																					
開館日数（日）	42	310	282	268	902																					
入館者数（人）	6,565	22,678	17,934	11,760	58,937																					
成果に係る評価			平成30年4月18日に開設した環境省所管「川のビジターセンター」、平成30年7月21日に再開した白浜海水浴場、平成31年4月1日に開設した「石巻市白浜ビーチパーク」との相乗効果により、地域の周遊及び滞在時間を増やす必要があるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染対策の実施に重点を置いた事業実施となった。今後は、新型コロナウイルス感染対策を実施しつつ、各施設と連携を図っていく。																							
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	6,039,108	6,039,108					6,039,108																			

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	商工費		第 節			()	
	3 目	観光費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	牡鹿地域拠点エリア管理運営費				
事業コード			事 業 名	牡鹿地域拠点エリア管理運営事業				
目的及び事業内容			おしかホエールランドや情報交流館の機能を併せ持った観光物産交流施設などを牡鹿地域拠点エリアとして運営し、環境省が整備する牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、牡鹿地域の水産・観光の振興、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図る。 また、環境省及び地域団体と共に牡鹿半島ビジターセンター運営協議会を設置し、ビジターセンターを拠点とした自然体験活動を通して、エコツーリズム及び環境教育を推進することにより、地域の自然環境保全及び活性化に寄与する。					
取 組 実 績			<p>1 牡鹿地域拠点エリア 施設概要 (1)おしかホエールランド：鯨に関する資料の収集、展示及び歴史・文化の継承口 (2)観光物産交流施設：地域特産品等の展示・販売、地域情報の発信及び交流促進</p> <p>2 牡鹿地域拠点エリア 管理業務 (1)指定管理者：一般社団法人鮎川まちづくり協会 (2)指定管理期間：令和元年9月1日～令和6年3月31日 (3)指定管理料：42,000千円 (4)業務内容 ア管理施設の利用の許可に関する業務 イ利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ウ管理施設の維持管理に関する業務</p> <p>3 牡鹿地域拠点エリア 利用実績 (1)観光物産交流施設全般：162,394人 (2)インフォメーションコーナー：6,758人 (3)テナント（7事業者）合算人数：53,522人 (4)おしかホエールランド：28,292人 （新型コロナウイルス感染拡大のため、開園を4月1日から7月22日に延期） (5)指定管理業務によるイベント：3回 (6)自主事業によるイベント：1回</p> <p>4 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業 (1)活動拠点となる牡鹿半島ビジターセンターの運営に関する事業 (2)自然体験活動プログラムの企画・実施に関する事業 (3)三陸復興国立公園及びその周辺の各種情報の収集・提供に関する事業</p> <p>5 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業実績 (1)各種研修会の実施：3回開催、14名参加 (2)セミナー・イベント等実施：14回開催、延べ205名参加</p> <p>6 牡鹿半島ビジターセンター 入館者数 47,022人（4月1日～5月31日は、新型コロナウイルス感染拡大のため休館）</p>					
成 果			令和2年度は、観光物産交流施設及びおしかホエールランドの管理運営を行い、新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら、牡鹿半島ビジターセンターが行う簡易プログラム等と連携し、牡鹿地域の魅力発信と交流人口の拡大に努めた。 また、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業として、牡鹿地域の魅力の再発見する簡易プログラムや環境教育に繋がる研修会・セミナー等を企画し、実施することにより来館者の増加に寄与した。					
成果に係る評価			牡鹿地域拠点エリア指定管理者は適切な施設の運営管理に努めており、イベント開催等による集客を図り、懇切丁寧なインフォメーションを行っている。新型コロナウイルス感染拡大予防についても、万全の対策で感染者の発生を抑えてきた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時閉館していたものの、年間の来館者数は観光物産交流施設全般で約16.2万人、おしかホエールランドで約2.8万人であり、再開後の来館者数は順調に推移している。 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、規模を縮小してのイベント開催であったが、牡鹿地域拠点エリアの来客に貢献している。					
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	54,237,740	54,141,440					54,141,440	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()							
	1 項	商工費		第 節			()							
	3 目	観光費		()			()							
実施計画掲載ページ			中 事 業	雄勝地域拠点エリア管理運営費										
事業コード			事 業 名	雄勝地域拠点エリア管理運営事業										
目的及び事業内容		<p>・新たに建設された雄勝地域における観光の拠点施設である「雄勝現伝統産業会館」及び「雄勝観光物産交流館」の適切な管理運営と、両施設を活用した観光事業の充実を図る。</p> <p>・道の駅としての登録を受け、多くの来場者、交流人口の増大を図る。</p>												
取 組 実 績		<p>雄勝地域の観光・物産・産業等に関するPR事業の実施</p> <p>1 観光イベント事業 ・おがつ市等の開催（復興市実行委員会と共催） 9回</p> <p>2 物産PR事業 ・海産物直売所を活用したPR ・伝統産業会館を活用した雄勝産を中心とした雄勝石商品のPR</p> <p>3 広告事業 ・各種広告宣伝事業 各施設パンフレットの作成 伝統産業会館5,000部 観光物産交流館10,000部</p> <p>4 交流人口集客事業 ・施設を活用した企画展等の開催 8回</p> <p>施設の適正な管理運営 法的基準を満たす適正な施設管理（業務委託契約を含む。）の実施 効率的な施設活用の検討</p>												
成 果		<p>雄勝地域の観光・物産・産業等に関するPR事業 イベント事業 9回開催 延べ4,900人來場 物産PR事業（各施設來場者）</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名／年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>伝統産業会館</td> <td>17,848人</td> </tr> <tr> <td>観光物産交流館</td> <td>53,589人</td> </tr> </table> <p>企画展事業 8回 延べ13,000人來場</p>							施設名／年度	令和2年度	伝統産業会館	17,848人	観光物産交流館	53,589人
施設名／年度	令和2年度													
伝統産業会館	17,848人													
観光物産交流館	53,589人													
成果に係る評価		<p>雄勝地域の観光物産等の振興を図るため、施設の適正な管理に努めるとともに、観光・物産・産業等にかかるPR活動のほか、地域の交流人口増を図る各種事業を実施し、コロナ禍における実施としては、計画通りの成果をあげることができた。</p> <p>本施設の運営は、雄勝地域復興のシンボルだけではなく、観光や産業の振興に欠かせない中核施設となり、観光周遊のハブ的な要素も発揮しつつある。また、令和3年3月に県内16番目の「道の駅」として登録され、その効果を発揮し、地域内の活性化はもちろんのこと、地域外の道の駅や各施設と連携し、さらなる観光物産振興が期待される。</p>												
（単位：円）														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	47,440,000	46,067,238			6,568,484	39,498,754								

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	商工費		第 節			()	
	3 目	観光費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	サイクルツーリズム推進事業費				
事業コード			事 業 名	サイクルツーリズム推進事業〔地方創生〕				
目的及び事業内容		<p>ツール・ド・東北の開催認知度が向上している中で、市内におけるサイクルイベントの開催を支援することにより、サイクルツーリズムの推進を図り、地域経済の活性化、交流人口の増加及び観光振興の拡大を図る。</p> <p>また、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会への継続参加により地方創生の推進や交流人口の増加、観光振興の拡大につなげることを目的とする。</p>						
取 組 実 績		<p>○サイクルイベントの開催（一社）石巻圏観光推進機構に業務委託）</p> <p>1 ライドハンターズ石巻 開催年月日 : 令和2年10月18日（日） 参加人数 : 79名 会場 : 石巻市水産総合振興センター 内容 : ハンティングMAPに示されたスポットをまわり獲得した得点を競う「エリア探索サイクリング」 特筆事項 : 新型コロナウイルス感染症を考慮し参加者を東北地方在住者に限定した。</p> <p>2 牡鹿半島チャレンジライド ヒルクライム&ファンライド 開催年月日 : 令和2年11月1日（日） 参加人数 : 184名 内容 : ヒルクライム 高低差のある3.64kmコースのタイムトライアル ファンライド 牡鹿半島を1周(62km)するサイクリング 特記事項 : 新型コロナウイルス感染症を考慮し参加者を東北地方在住者に限定した。</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 平成30年度に設立された同会に加盟しており、本市は当会の理事を務めている。 (389市区町村が加盟(加盟率22.34%)</p>						
成 果		<p>○サイクルイベントの開催</p> <p>1 ライドハンターズ石巻 市内の名所や店舗等を立ち寄りポイントに設定し、制限時間内により多くのポイントに立ち寄ることにより、総合得点を競うサイクルイベントのため、地域の店舗での消費活動を伴うため地域経済活性化に寄与した。参加者も県内の他東北各県にまたがり、交流人口の増加にもつながった。</p> <p>2 牡鹿半島チャレンジライド ヒルクライム&ファンライド コバルトライン女川～大六天山駐車場間を通行止めとしたタイムトライアルと、走行管理ライダーの先導によるファンライド(周遊)を実施。参加者による圏域への宿泊や飲食による消費活動で地域経済活性化に寄与するとともに、交流人口増加の一助ともなった。</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・自転車を活用した取組みで志を同じくする首長が連携し、健康・生きがい・友情を育む自転車新文化の普及拡大を図ることにより、地方創生の先進的・先駆的な取組みを実施する組織。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対策として総会やシンクソミット等が中止となり実質的な活動が行われなかった。</p>						
成果に係る評価		<p>○サイクルイベントにおいては、ツール・ド・東北との連携等により、参加者の満足度は高かった。地域経済の活性化や交流人口の増加に寄与している点も評価出来る。令和2年度より石巻圏観光推進機構による事業となり、石巻圏におけるサイクルツーリズムの機運も高まっていることから、同イベントへの協力、支援を継続していくことで、当市の観光振興の拡大につながるコンテンツに成長すると予測出来ることから、今後も自転車を活用した観光振興の推進を図る。</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会については、コロナ禍により様々な活動が中止となったが、全国的なサイクルツーリズムの機運の高まりから交流人口の増加や地方創生の発展寄与、加盟市区町村との交流等が期待出来るので、今後も同会への参画を継続する。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	6,010,000	5,950,000	2,970,000			2,980,000		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																		
	1 項	商工費		第 節		(2)	企業誘致と新産業の創出																		
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	産業の活性化と新産業の育成																		
実施計画掲載ページ		P 209	中 事 業	企業立地等促進事業費																					
事業コード		004-201-003-00531	事 業 名	企業誘致等支援事業																					
目的及び事業内容		事業者の設備投資を促すため、設備投資額や雇用人数等の一定の要件を満たす事業者に対し、助成金を交付することで企業立地の促進と市内事業者の育成による産業の振興と雇用の拡大を図る。																							
取 組 実 績		<p>石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・企業立地助成金</td> <td>24 件</td> <td>26,974,400 円</td> </tr> <tr> <td>・上水道料金助成金</td> <td>4 件</td> <td>760,547 円</td> </tr> <tr> <td>・雇用奨励助成金</td> <td>6 件</td> <td>12,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>・環境対策設備助成金</td> <td>1 件</td> <td>15,960,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35 件</td> <td>55,694,947 円</td> </tr> </tbody> </table>						項目	交付件数	交付額	・企業立地助成金	24 件	26,974,400 円	・上水道料金助成金	4 件	760,547 円	・雇用奨励助成金	6 件	12,000,000 円	・環境対策設備助成金	1 件	15,960,000 円	合計	35 件	55,694,947 円
項目	交付件数	交付額																							
・企業立地助成金	24 件	26,974,400 円																							
・上水道料金助成金	4 件	760,547 円																							
・雇用奨励助成金	6 件	12,000,000 円																							
・環境対策設備助成金	1 件	15,960,000 円																							
合計	35 件	55,694,947 円																							
成 果		令和2年度において25社35件に対し各種助成金を交付しているが、交付事業者が令和2年度中に新規で雇用した常用従業員数は81人となっており、雇用の創出と安定的な就業の場の確保が図られた。																							
成果に係る評価		令和2年度は、25社に対し各種助成金を交付し、誘致企業のみならず市内企業への支援も行った。更なる企業立地を促進すべく、事業者のニーズ等を踏まえ、適宜、企業立地等促進条例を改正していくとともに、企業訪問等を行っていく中で本制度の周知を図ることで、事業者の立地を促進していく。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	129,278,000	55,694,947				55,694,947																			

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																				
	1 項	商工費		第 節		(1)	海とともに生きる																																				
	4 目	東日本大震災関係費		()		(4)	商業の再建復興																																				
実施計画掲載ページ		P 198	中 事 業	商工業復興推進費																																							
事業コード		003-104-001-00430	事 業 名	中小企業者支援事業〔復興基金〕																																							
目的及び事業内容		震災により直接被害を受けた市内中小企業者を支援するため、被災した施設及び設備の復旧に要する経費の一部を補助するもの。																																									
取 組 実 績		<p>令和2年度補助金交付額 3,183,812円</p> <p>1 補助対象者</p> <p>(1) 市内で事業を営んでいる中小企業者</p> <p>(2) 施設が全壊又はそれに準ずる大規模な被害を受け、事業を継続することが困難である者</p> <p>(3) 施設及び設備を復旧して市内で事業を再開又は継続する者で、かつ、当該復旧に要する経費が20万円以上である者</p> <p>(4) 東日本大震災発生以前に、到来した納期において納付すべき市税及び国民健康保険税を完納しており、かつ、事業内容が堅実な事業者</p> <p>2 補助対象工事</p> <p>(1) 被災した施設の修復、建替に要する経費（住宅と施設が一体となっている場合は、施設に要する経費に限る。）</p> <p>(2) 被災した設備の修繕又は入替に要する経費</p> <p>3 補助金の額</p> <p>補助対象経費の2分の1以内に相当する額（限度額100万円）</p>																																									
成 果		被災した市内事業者の施設復旧を支援することにより、地域経済の活性化を図った。																																									
成果に係る評価		<p>・ 令和2年度交付件数 6事業所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運輸業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卸・小売業</td> <td>1</td> <td>271,812円</td> </tr> <tr> <td>宿泊・飲食業</td> <td>1</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>1</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>1</td> <td>912,000円</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育・学習支援業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報通信業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不動産業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>3,183,812円</td> </tr> </tbody> </table>						業種	交付件数	交付金額	サービス業	0		運輸業	0		卸・小売業	1	271,812円	宿泊・飲食業	1	1,000,000円	製造業	1	1,000,000円	建設業	1	912,000円	医療・福祉	0		教育・学習支援業	0		情報通信業	0		不動産業	0		計	4	3,183,812円
業種	交付件数	交付金額																																									
サービス業	0																																										
運輸業	0																																										
卸・小売業	1	271,812円																																									
宿泊・飲食業	1	1,000,000円																																									
製造業	1	1,000,000円																																									
建設業	1	912,000円																																									
医療・福祉	0																																										
教育・学習支援業	0																																										
情報通信業	0																																										
不動産業	0																																										
計	4	3,183,812円																																									
成果に係る評価		令和2年度は4事業所に対して補助金を交付した。令和2年度が事業最終年度となり、平成23年度の事業開始から、これまで717件、約55,500万円の補助金交付を行い、事業者の復旧支援を行った。																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	3,184,800	3,183,812				3,183,812																																					

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	商工費				(3)	職の再建
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	雇用の維持と創出
実施計画掲載ページ		P188	中 事 業		中小企業等融資関係費		
事業コード	002-301-001-00392	事業名		融資あっせん制度拡充事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>事業資金を必要とする中小企業事業者への緊急経済対策として、制度融資を実施するもの。市は預託金を差し入れ、金融機関においては、市が預託した金額の10倍の融資枠を設定する。また、融資保証料を50%補給、小企業小口融資利用者に対しては保証料を100%補給し安定した事業運営を支援している。東日本大震災の影響により被害を受けた事業者を支援するため、平成23年7月より災害関連枠を創設し、令和元年度より保証料の100%補給及び利子補給（3年間）を実施。</p>						
取組実績	金融機関に預託金を差し入れるとともに、保証料及び利子の補給、損失補償金を支出した。						
	区 分	預託額 (円)	保証料補給 (円)	利子補給 (円)	損失補償金 (円)		
	中小企業 融資(一般)	160,000,000	1,834,872	—	1,987,408		
	中小企業 融資(災害)	630,000,000	34,734,208	68,050,737	0		
	小企業 小口融資	10,000,000	9,075	—	0		
合計	800,000,000	36,578,155	68,050,737	1,987,408			
							総合計(円) 906,616,300
成 果	上記事業の実施により、市内中小企業の経営の維持安定及び振興発展が図られた。						
	区 分	融資条件	融資枠 (千円)	融資状況		債務残高	
				件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
	中小企業 融資 (一般)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：運転7年・設備10年・併用7年 (据置期間1年以内) (3) 利率：年2.0% (1年以内1.8%) (4) 保証料補給：信用保証料50%	1,600,000	16	111,799	210	875,650
中小企業 融資 (災害)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：10年(据置期間2年以内) (3) 利率：年1.5% (4) 保証料補給：信用保証料100%	6,300,000	88	1,307	457	4,716,859	
小企業 小口融資	(1) 限度額：350万円 (2) 期間：運転5年・設備7年・併用5年 (据置期間6か月以内) (3) 利率：年2.2% (1年以内2.0%) (4) 保証料補給：信用保証料100%	50,000	1	500	3	3,606	
成果に係る評価	<p>令和2年度の融資実績は、災害関連枠が88件、一般枠が16件であり、両者とも前年比70%程度減少している。ただ、令和元年度については、中小企業融資災害関連枠の制度拡充を開始したため、融資実績が大幅に増加した経緯があり、令和2年度と制度拡充以前との比較では、災害関連枠の実績は50件以上増加している。</p> <p>市内企業の実情に鑑み、条件等を検討しながら、引き続き事業を継続していく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	906,616,892	906,616,300			904,628,892	1,987,408	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる		
	1 項	商工費				(2)	企業誘致と新産業の創出		
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	産業の活性化と新産業の育成		
実施計画掲載ページ		P210	中 事 業		企業育成支援事業費				
事業コード	004-201-003-00530	事業名		6次産業化推進事業〔復興基金〕					
目的及び事業内容	<p>地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進するため、6次産業化の担い手となる人材育成と事業化支援を行うことにより、1次産業事業者の経営多角化及び所得向上並びに地場産業の振興を推進するため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」の運営を委託する。</p> <p>センターにおいては6次産業化に取組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組み事業者に対し、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。</p>								
取組実績	1 6次産業化推進業務委託料 51,022,805円								
	2 令和2年度はセンターにおいて以下の事業を実施した。								
(1) 事業化支援									
ア 商品開発支援									
支援員派遣等により、各種マーケティング調査やテスト販売、アドバイスを実施し商品化を推進。商品化件数は15件となった。									
また、販路開拓支援については、新規販路獲得件数36件となった。									
イ 総合支援									
相談受付件数281件のうち6次産業化関連は24事業者から184件。									
(2) イベント・プロモーションの取り組み									
ア 販売促進・販路開拓支援									
地産地消市場仙臺いはにてチャレンジショップの開催。									
(センター利用事業者の新規開発商品を地産地消拡大とPRを目的に開催した。)									
イ HP・SNSを活用したプロモーション									
センターが管理運営するHPやSNSを随時更新し、センターの活動情報や助成金の情報などを発信。									
(R2更新回数 HP：90回、SNS：86回)									
成 果	センター事業の実施により、6次産業化の進捗が図られた。								
	【セミナー(講演会・ワークショップ等)及び視察の開催結果】								
	区分	開催回数	目標参加者数	参加者数					
	H30	3回	45人	111人					
	R1	3回	45人	66人					
	R2	1回	15人	15人					
成 果	【センター事業の成果】								
	区分	相談受付 件数	支援 事業者数	総合化事業 計画認定件数		商品開発 件数		販路開拓 件数	
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	H30	350件	24者	2件	0件	5件	8件	10件	19件
	R1	248件	11者	2件	0件	5件	21件	10件	15件
	R2	281件	24者	2件	0件	5件	15件	10件	36件
成果に係る評価	<p>市内全体で、6次産業化に取り組み事業者による成果は前年実績より件数は増加し、販路開拓件数やこれまでの取り組みに対する成果も順調に増加しており、着実に6次産業化が進んでいる。</p> <p>取り組んでいる事業者に対して、レベルに応じた支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による新たなマーケティング形態の構築等、多様化する事業形態に対応できるよう6次産業化に関する取り組みを行うことができた。</p> <p>今後も6次産業化を市の重要施策としてさらに推進していくため、事業者の自立をより一層意識した取り組みを重ね、継続して事業を行っていく必要がある。</p>								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	55,497,000	51,022,805					51,022,805		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																	
	1 項	商工費					(2)	企業誘致と新産業の創出																																	
	4 目	東日本大震災関係費					(1)	産業の活性化と新産業の育成																																	
実施計画掲載ページ		P210	中 事 業	企業育成支援事業費																																					
事業コード	004-201-003-00926	事 業 名	6次産業化・地産地消推進事業〔復興基金〕																																						
目的及び事業内容	農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業者、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等を図る事業に対して、予算の範囲内において石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。																																								
取組実績	<p>1 新商品開発事業 新商品開発等のため、試作製造やテスト販売等に対し相談や指導、助言等を行うことにより、6次産業化・地産地消の推進が図られた。</p> <p>2 販路開拓事業 販路開拓のため、1事業（ネットワーク構成した市内事業者計2者）に対し、分業・協業による製品化、加工・販売を2次・3次事業者の連携により、新たな販路開拓を行う費用を助成し、6次産業化・地産地消の推進が図られた。</p> <p>3 施設整備事業 施設整備のため、建物建築工事、設備取得に係る相談や助言等を行い、6次産業化・地産地消の推進が図られた。</p>																																								
成 果	令和2年度、本助成金の交付により、市内1次産業者の6次産業化等が図られた。																																								
	<p>【助成金交付実績額】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・販路開拓事業1件に対し、1,000,000円の助成金を交付した。</p>								区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H26	5	2	40%	H27	22	10	45%	H28	10	8	80%	H29	10	6	60%	H30	10	1	10%	R1	10	4	40%	R2	10	1
区分	成果指標		達成率等																																						
	目標値（件数）	実績等（件数）																																							
H26	5	2	40%																																						
H27	22	10	45%																																						
H28	10	8	80%																																						
H29	10	6	60%																																						
H30	10	1	10%																																						
R1	10	4	40%																																						
R2	10	1	10%																																						
成果に係る評価	令和2年度は、販路開拓事業1件、交付額は100万円であった。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業者間で面会できる機会が減少したことにより、申請件数が減少したが、これまでの助成により、石巻市の食材を活用した商品の開発に繋がっていると考えられることから、本事業の効果は非常に高いと考えられる。令和3年度においても補助申請に向けた事前相談が活発に行われており、6次産業化に取り組む事業者への支援は今後も継続する必要がある。																																								
（単位：円）																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	2,372,086	1,000,000			1,000,000																																				

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																										
	1 項	商工費					(4)	地域資源を活かす																																										
	4 目	東日本大震災関係費					(1)	観光業・施設の再生復興																																										
実施計画掲載ページ		P201	中 事 業	観光物産復興事業費																																														
事業コード	003-401-002-00463	事 業 名	物産市等開催・参加支援事業、復興物産PR事業、雄勝復興祭りイベント事業、北上復興祭りイベント事業〔復興基金〕																																															
目的及び事業内容	復興市等の実施やイベントへの参加に対して助成金を交付し、観光復興を図る。																																																	
取組実績	<p>1 物産市等開催・参加支援事業費補助金の概要 ①開催支援事業…補助率3/5（限度額60万円） ②参加支援事業…補助率2/3（限度額20万円） 2 雄勝復興祭りイベント事業補助金の交付 補助額：800,000円 内容：主におがつ店こ屋街を会場に、イベントを9回開催しにぎわいの創出を図った。 3 北上にっこり写真セミナー事業補助金の交付 補助額：700,000円 内容：にっこり写真セミナーコンクールの写真を掲載した写真集を作成し、観光産業の拡大を図った。 4 復興物産イベント実施先</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三陸地域の物産と観光展inあつかしの郷</td> <td>福島県国見町</td> <td>9/19～9/22</td> <td>28,266</td> </tr> <tr> <td>石巻・海の市in秋田湯沢</td> <td>秋田県湯沢市</td> <td>10/24～10/25</td> <td>5,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 雄勝地域拠点エリア道の駅改修工事 工事費：8,826,400円 駐車場カーポート設置、施設案内サイン設置、誘導サイン設置、エリアサイン設置等</p>								名称	場所	開催日	入込数（人）	三陸地域の物産と観光展inあつかしの郷	福島県国見町	9/19～9/22	28,266	石巻・海の市in秋田湯沢	秋田県湯沢市	10/24～10/25	5,800																														
	名称	場所	開催日	入込数（人）																																														
三陸地域の物産と観光展inあつかしの郷	福島県国見町	9/19～9/22	28,266																																															
石巻・海の市in秋田湯沢	秋田県湯沢市	10/24～10/25	5,800																																															
成 果	<p>1 物産市等開催・参加支援事業費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物産市等イベント開催支援事業</td> <td>1件</td> <td>505,000円</td> </tr> <tr> <td>物産市等イベント参加支援事業</td> <td>15件</td> <td>1,971,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16件</td> <td>2,476,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 雄勝復興祭りイベント事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回おがつ市</td> <td>7/26</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>おがつ灯籠流し</td> <td>8/14</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>第2回おがつ市</td> <td>8/30</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>第3回おがつ市</td> <td>9/27</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>おがつ夜市</td> <td>10/17</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>第4回おがつ市</td> <td>10/25</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>第5回おがつ市</td> <td>11/29</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>第6回おがつ市</td> <td>12/27</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>年末年始大抽選会</td> <td>1/10</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 北上復興祭りイベント事業 ・写真集作成協力金等</p>								事業名	交付件数	補助金額	物産市等イベント開催支援事業	1件	505,000円	物産市等イベント参加支援事業	15件	1,971,000円	計	16件	2,476,000円	名称	開催日	入込数（人）	第1回おがつ市	7/26	600	おがつ灯籠流し	8/14	200	第2回おがつ市	8/30	700	第3回おがつ市	9/27	600	おがつ夜市	10/17	200	第4回おがつ市	10/25	800	第5回おがつ市	11/29	800	第6回おがつ市	12/27	400	年末年始大抽選会	1/10	600
	事業名	交付件数	補助金額																																															
物産市等イベント開催支援事業	1件	505,000円																																																
物産市等イベント参加支援事業	15件	1,971,000円																																																
計	16件	2,476,000円																																																
名称	開催日	入込数（人）																																																
第1回おがつ市	7/26	600																																																
おがつ灯籠流し	8/14	200																																																
第2回おがつ市	8/30	700																																																
第3回おがつ市	9/27	600																																																
おがつ夜市	10/17	200																																																
第4回おがつ市	10/25	800																																																
第5回おがつ市	11/29	800																																																
第6回おがつ市	12/27	400																																																
年末年始大抽選会	1/10	600																																																
成果に係る評価	物産市開催・参加支援事業については、事業経費の一部を補助することによって、本市特産品の普及が促進され、震災の影響により落ち込んだ地域経済を立て直すための事業であり令和2年度終了となるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント中止が相次ぎ、大幅な利用数減となった。今後は、新しい生活様式に対応した安心・安全なイベント開催が求められることから、関係団体等と連携し、販路拡大、交流人口の増加に向けた観光振興に取り組んでいく。																																																	
（単位：円）																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	20,500,000	12,802,400			12,801,400	1,000																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																		
	1 項	商工費		第 節		(4)	地域資源を活かす																		
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	観光業・施設の再生復興																		
実施計画掲載ページ		P201	中 事 業	観光物産復興事業費																					
事業コード		003-401-002-00465	事 業 名	石巻観光ボランティア協会復興支援事業〔復興基金〕																					
目的及び事業内容		「震災まなびの案内」、石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び、駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対する活動費を補助し、円滑な活動の促進を図る。																							
取組実績		<p>震災後、激増している来訪者の対応等で負担が大きい石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費を補助した。</p> <p>1 研修会関係 令和2年 7月 1日：雄勝地区防災研修（雄勝観光物産交流館） 令和2年 9月29日：仙南地区防災研修（山元町中浜小学校） 令和2年12月 1日：気仙沼地区防災研修（気仙沼震災伝承館） 令和3年 2月17日：コロナ禍の観光におけるオンラインセミナー協力（かわまち交流センター）</p> <p>2 ボランティアガイド関係 令和2年 7月22日：マンガモニュメント清掃作業（マンガロード周辺） 令和2年 9月26日：まなびの案内除菌ティッシュシール貼り（かわまち交流センター） 令和2年10月12日：間寛平氏石巻訪問案内（北上川河川堤防） 令和2年10月30日：除菌ティッシュ等啓発物品配布（JR石巻駅前） 令和2年11月 1日：牡鹿半島チャレンジライド協力（鮎川浜ホエールタウンおしか） 令和2年12月14日：語り部ガイドブック作成作業～令和3年2月まで4回実施（情報交流館） 令和3年 3月10日：新潟県白新中学校オンライン学習（かわまち交流センター）</p>																							
成 果		<p>○ 大震災学びの案内 活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>バス台数（うち学校）</th> <th>参加人数（うち学校）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>628台（37台）</td> <td>13,475人（2,365人）</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>447台（29台）</td> <td>8,052人（1,199人）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>403台（22台）</td> <td>7,463人（ 819人）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>315台（23台）</td> <td>5,730人（ 636人）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>68台（12台）</td> <td>937人（ 891人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 観光協会総会資料より</p>							バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）	H28	628台（37台）	13,475人（2,365人）	H29	447台（29台）	8,052人（1,199人）	H30	403台（22台）	7,463人（ 819人）	R1	315台（23台）	5,730人（ 636人）	R2	68台（12台）	937人（ 891人）
	バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）																							
H28	628台（37台）	13,475人（2,365人）																							
H29	447台（29台）	8,052人（1,199人）																							
H30	403台（22台）	7,463人（ 819人）																							
R1	315台（23台）	5,730人（ 636人）																							
R2	68台（12台）	937人（ 891人）																							
成果に係る評価		「大震災学びの案内」の利用者は、開始以来のべ13万人を超える全国からの来訪者を案内している。平成24年度に最多人数を記録し、以降は年々減少しており、令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年度比16.4%となった。石巻観光ボランティア協会は「震災まなびの案内」の実施に係る数少ない受入団体であることや、震災の教訓を次の世代に継承し、風化させないためにも本団体の存在は重要であり、今後も研修の実施により質の高い案内を提供し、参加人数の増加に取り組むこととしたい。																							
（単位：円）																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																			
	500,000	500,000			500,000																				

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	商工費		第 節		(2)	企業誘致と新産業の創出																										
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	産業の活性化と新産業の育成																										
実施計画掲載ページ		P210	中 事 業	企業育成支援事業費																													
事業コード		004-201-003-00931	事 業 名	企業育成支援事業〔復興基金〕																													
目的及び事業内容		市内既存企業及び進出企業に対して、新たな産業の創出及び雇用促進の効果が期待できる事業として取り組む人材育成、研究開発、情報提供、知的財産取得の各事業への助成金交付を行うことにより、本市の産業振興と雇用の拡大を図る。																															
取組実績		<p>「石巻市産業創造助成金」の交付 令和元年度より、事業者支援及び本事業の積極的な活用を促すため、要件の緩和や申請手法の簡素・簡略化を実施した。</p> <p>1 人材育成事業 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用に助成金を交付するものであるが、令和2年度は2件総額600,000円の助成金交付を行った。</p> <p>2 研究開発事業 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用に助成金を交付するものであるが、令和2年度は2件総額3,912,233円の助成金交付を行った。</p> <p>3 情報提供事業 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用に助成金を交付するものであるが、令和2年度は2件861,375円の助成金交付を行った。</p> <p>4 知的財産等取得事業 令和元年度より事業名及び内容を新たに改正し、市内事業者の高度化等を図るため、商品に係る意匠権や商標権、特許取得等の費用に助成金を交付するものであり、令和2年度は5件1,693,400円の助成金交付を行った。</p>																															
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>9 件</td> <td>1 件</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6 件</td> <td>0 件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6 件</td> <td>3 件</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6 件</td> <td>7 件</td> <td>116%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>6 件</td> <td>11 件</td> <td>183%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H28	9 件	1 件	11%	H29	6 件	0 件	0%	H30	6 件	3 件	50%	R1	6 件	7 件	116%	R2	6 件	11 件	183%
区分	成果指標		達成率等																														
	目標値（件数）	実績等（件数）																															
H28	9 件	1 件	11%																														
H29	6 件	0 件	0%																														
H30	6 件	3 件	50%																														
R1	6 件	7 件	116%																														
R2	6 件	11 件	183%																														
成果に係る評価		令和2年度の本事業については、11件の補助申請があり、交付を行った。令和元年度より行った、要件緩和や申請手法の簡略化等により、事業全体の推進が図られ、事業者支援を実施することができた。本市の産業の復興及び事業者が抱えている課題の解決に有効な補助支援事業であるため、市内事業者に制度周知を継続し、本事業を積極的に推進していく必要がある。																															
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
	8,000,000	7,067,008			7,067,008																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	1 項	商工費					(1)	海とともに生きる
	4 目	東日本大震災関係費					(4)	商業の再建復興
実施計画掲載ページ		P197	中 事 業		リボンアートフェスティバル開催支援事業費			
事業コード		003-104-001-01092	事 業 名		リボンアートフェスティバル開催支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		市内中心部及び牡鹿半島を主会場として「地域振興／復興につながる循環」を目的として開催される「アート」・「音楽」・「食」の総合芸術祭「Reborn-Art Festival」の開催支援を行うことで交流人口・関係人口を拡大する。						
取 組 実 績		<p>本祭の開催を控え、プレイベントを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オンラインにより映像作品を公開した。</p> <p>また、常設作品のサイン設置及び作品周辺の草刈り等の環境整備が実施されたほか、本祭に向けたプラン作成や現地視察などが行われた。</p> <p>1 オンラインプロジェクト「鹿のゆくえ」 Reborn-Art Festival 2019において小積浜エリアで参加した作家6組が17の作品を発表した。 2021年1月公開</p> <p>2 オンラインプロジェクト「交信-声なき声を聴くためのレッスン」 石巻と東京ほか各所を結び、全3回の連続トークセッションとパフォーマンスを行った。 2021年2月・3月公開</p>						
成 果		オンラインプロジェクトの閲覧者数は13,019人であり、本祭に向けたPRが図られたほか、周辺工事や新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、広く周知することは難しかったものの、会期にとらわれず、常時、鑑賞可能な作品が増えてきており、本市の知名度の向上、交流人口の拡大に寄与している。						
成果に係る評価		コロナ禍における芸術祭開催の一つの手法としてオンラインを活用した映像公開が行われた。令和3年度については、「利他と流動性」をテーマに、第3回目の本祭となる「Reborn-Art Festival 2021-22」の夏会期が開催されるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じたうえで開催することとなり、引き続き交流人口の拡大と地域振興に資するため、その開催を支援していくこととしている。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,000,000		5,000,000				5,000,000	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる														
	1 項	商工費					(2)	企業誘致と新産業の創出														
	2 4 目	商工業振興費 東日本大震災関係費					(1)	産業の活性化と新産業の育成														
実施計画掲載ページ		P209	中 事 業		商工業振興事業費 企業立地等促進事業費																	
事業コード		004-201-002-00943 004-201-002-01250	事 業 名		創業支援事業 産業復興支援事業〔復興基金〕																	
目的及び事業内容		「石巻市創業支援等事業計画」に掲げた各種支援事業を実施するとともに、市内事業者の抱える経営課題等の解消に向けた相談会やセミナーを開催し、本市産業の活性化と雇用の確保を図る。																				
取 組 実 績		<p>経済団体、支援事業者、金融機関等で組織する「石巻市創業支援事業者連携会議」を開催し、活動状況等の情報共有とともに連携を密にしながら各種創業支援等を実施したほか、本市独自の支援制度である「石巻市創業支援補助金制度」により、創業に要する経費等の一部を補助し、創業を促した。</p> <p>また、市内実業高校において創業に対する機運を高めるセミナーを実施し、創業に関する魅力や理解と関心の向上に努めた。</p> <p>さらに、石巻産業創造塾において無料の相談会や各種セミナーを開催し、次代を担う若手経営者の育成や市内事業者の支援を行った。</p> <p>1 各種創業支援等事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の開設 延べ利用者：68者（うち創業関連：延べ23者） ・起業・経営等相談会 延べ利用者：45者（うち創業関連：延べ25者） ・創業開成塾、なでしこ開成塾 受講者数20名 <p>2 石巻市創業支援補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13件 6,926,944円 <p>3 創業機運醸成セミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県石巻商業高等学校 2回開催 33名参加 ・宮城県水産高等学校 1回開催 25名参加 <p>4 若手経営者育成のための経営革新塾の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6回（1シリーズ）開催 13名参加 																				
成 果		<p>令和2年度の創業支援等事業の実施により創業した件数は6件であった。</p> <p>また、平成28年度以降に石巻市創業支援補助金等を申請するために必要となる特定創業支援等事業（継続的な支援で、経営、財務、人材育成、販路開拓の全ての知識が身につく事業）により支援を受けたことの証明書の発行を受けた創業者の令和3年3月末の雇用人数は87名であり、新規創業の促進と雇用創出が図られた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和2年度創業件数の内訳</th> </tr> <tr> <th>業種</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卸売業、小売業</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>宿泊業、飲食サービス業</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>生活関連サービス業、娯楽業</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>教育、学習支援業</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6 件</td> </tr> </tbody> </table>							令和2年度創業件数の内訳		業種	件数	卸売業、小売業	2 件	宿泊業、飲食サービス業	1 件	生活関連サービス業、娯楽業	2 件	教育、学習支援業	1 件	合計	6 件
令和2年度創業件数の内訳																						
業種	件数																					
卸売業、小売業	2 件																					
宿泊業、飲食サービス業	1 件																					
生活関連サービス業、娯楽業	2 件																					
教育、学習支援業	1 件																					
合計	6 件																					
成果に係る評価		市内金融機関や産業支援機関等で構成する「石巻市創業支援事業者連携会議」における支援情報の共有を密に行いながら、各支援事業者の役割分担のもと、創業支援と創業後のフォローアップを実施することができた。																				
		なお、コロナ禍ということもあり、創業者のうち飲食業等の事業者から経営状況が厳しいという声も上がっており、これからも創業の促進と創業者のフォローアップによる経営の安定化に向けた支援に取り組んでいく。																				
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	25,149,000		16,462,367				15,051,143	1,411,224														